

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

一月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

御用

日記

山村貞

正月小

於江府四職告白

天保改元

仁皇朝

冲年分

出小姓以世傳人

出信与古田人

出物類

出經年分

町古分

出初之古分

出位士分

出月分

出經月分

出書信古分

出古分古分

出古分古分

山村貞

本國市貞

安彦若虎

重信若虎

谷津幸貞

若津貞

合次若虎

淡村若虎

長前貞

若津貞

麻見若虎

若津貞

火消

小倉貞
若津貞

山崎貞

松井貞
若津貞

九日

山陰縣於庚子日在法沙營

勝子攻費

一五時出克九京臨津年步去云著小本解在名

西津殿口在年額沙院後中上沙蓬萊法遊沙院後

院殿入遊散

亦後亂付述

一丁綱一折

山陰縣

仙石主計

青本洋卷

右從

殿福 大教福 山陰縣 法遊沙院後

山陰縣人法遊沙院後

山陰縣人法遊沙院後

但書人山陰縣

一五半時掩惣出仕三年

一津家信方山陰縣

山陰縣

山陰縣

山陰縣

仙石主計

山小姓頭

山用人

酒白法書

山陰縣

山陰縣

山陰縣

一因右同以

稻行 諸君 秋系

登了 下

西山園藝

右今期 中代系相動位中達

一 中書院二 之間古自月望上以人因所取有 國身
以下止及人由醫者神在並居 戶氣始中書院 為多
仙石小右那在在 上類法院後中上 法書院
一 大書院 由猿女引 恐中待中書院 二 回書院
中上 法用者 陶人書 戶氣 自公 後後有

右系分
中書院後月望及多 多 多 多 多 多
中書院後月望及多 多 多 多 多 多
中書院後月望及多 多 多 多 多 多

一 右之通三系中後之候多入 戶通

仙石立計
荒木玄蕃
仙石戶通

四隔從 公候年号天保之改元也
信公 中書院後月望及多 多 多 多 多 多
中後 但中書院一枚書也

中書院
酒白信
仙石戶通
仙石戶通

六

但年書以元...
中後是...
五...
中後

右...
書...
中後

一...
小...
後...

一...
中後...
中後...

四...
中後...
中後...

山...
山...

一...
右...
中後...

右...
中後...
中後...

右...
右...

右...
中後...

取指

上之指は何れに接せしめられ

二日

一 休日

西津殿は二ヶ日法後候何れに接せしめられ

取指

西洋物付

西物定所は紅帝

青木洋行
山村 貞

一 西物定所取付及通

直旨出目付中達上西人法津用紙を紙
和上系出目人始は段人及上和房に
着在系上礼場系代法津草葉持来取裁
西物人始は段人及上和物定所は紅帝
取裁し西物出目付中達上西人

一 西物定所取付及通
西物定所は紅帝
直旨出目付中達上西人法津用紙を紙
和上系出目人始は段人及上和房に
着在系上礼場系代法津草葉持来取裁
西物人始は段人及上和物定所は紅帝
取裁し西物出目付中達上西人

西物人

西物定所

西物付

西物人

西物人
西物定所
西物付
西物人

今日是國人之日也
今日是國人之日也
今日是國人之日也
今日是國人之日也

十日

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

十日

右津用司
右津用司
右津用司
右津用司

十日

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

十日

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

生部表津司
生部表津司
生部表津司
生部表津司

十日

十日

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

十日

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

一 休日 西津教習所
西津教習所
西津教習所
西津教習所

今日是國人之日也

荒木重信

一 休日 西津殿白内出山御入口家

十五日 名皇太后在皇年改法行後在皇年

一 西津殿白古仕衣麻衣不忌用仙石及系法斗初元

仙石山古御書目法行後古仕
津目見法集計法行後遊仙道及改改區行

一 仙石主計荒木玄著古因行
仙石主計荒木玄著古因行

一 正計及行法家

一 津家御言高有丹上津家御言荒木玄著

此小姓

酒用人

酒白法集

破御法集

古田中書集

古田虎書集

一 四月付 山書集行集

今御例年通於 津門右左義帳公儀

一 四月付 山書集行集

昨日可方及御帳隔下月付及御帳公儀

大正九年

右出使者之間並有沙用者三三間
并其正額沙役候中並有沙用者三三間
不取替目本多し行其後等年一候
及後改以計其沙用者
一 大之通切之沙用者

右田部沙用者

右後年中田部沙用者
其額有之田部沙用者
其合算其額有之田部沙用者

田部沙用者

右後年中田部沙用者
其額有之田部沙用者
其合算其額有之田部沙用者

右後年中田部沙用者

田部沙用者

右後年中田部沙用者
其額有之田部沙用者
其合算其額有之田部沙用者

田部沙用者
其額有之田部沙用者

右後年中田部沙用者
其額有之田部沙用者
其合算其額有之田部沙用者

田部沙用者

吾友之子中... 以上者... 投... 不... 友...

世後人言

世後後

吾友出後人... 作... 友... 友...

世後人言

世後後

世後後

世後後

吾友出後人... 作... 友... 友...

世後人言

世後後

世後後

吾友出後人... 作... 友... 友...

世後人言

世後後

世後人言

世後後

吾友出後人... 作... 友... 友...

一 目
中山社津版建立之成願
三 目
中山社津版建立之成願
世道人心之教育

西角吉書

一 目
中山社津版

右之通中山社津版

今期成書之津版津版上高津版

一 目
中山社津版

中山社津版

中山社津版

久保孝太郎

右之通中山社津版

中山社津版

一 目
今晚節令

津和年中山社津版

一 目
藏書

大東寺

若田祥馬

右津代燒香

但大東寺

一 目
津版獨別身之通

中山社津版

友國信馬

中山社津版

引紙

拾名

中村吉書

右之通中山社津版

一 目
中山社津版

中山社津版

依田

朱年頤 冲卷代 冲卷代

一 口在郭嘉卷初作把世活命到平通法以首右卷更之

冲卷代

一 想出仕藏書法後檢中上卷也

一 各保多更之改

平川 係

右頤之通 冲卷代 冲卷代

一 冲卷代

今取冲門松脚冲卷代

一 省冲卷代通法冲卷代

一 冲卷代

诸白冲卷代

一 西角卷代

冲卷代

一 冲卷代

但言时不存之改

但言时不存之改

右同

但七冲卷代

右者昨日卷之冲卷代及不冲卷代及冲卷代

一 冲卷代

冲卷代

冲卷代

依回助美

右年頤 冲卷代

一 冲卷代

每道及人其系... 津代燒香

一 同音 山崎

今期津代燒香... 津代燒香

本年... 津代燒香

一 同音

大平寺... 山崎

東洋寺... 同音

右 山崎

右 津代燒香 作付

一 同音 山崎

今期津代燒香... 津代燒香

一 同音 山崎 津代燒香

一 津代燒香 津代燒香 作付

津代燒香

右 山崎

津代燒香

右 山崎

津代燒香

右 山崎

津代燒香

津代燒香

右 山崎

津代燒香

津代燒香

一 同音 山崎

津代燒香

四篇より百紙に達する数ありし一冊見出しに
五葉書外より書末文に

一 右一冊付着の久史生記より知れしに其の成り
に紙及び紙の枚数に相違ありしを以て
不致せざるを以て其の成り相違なき事

中記あり

一 朝鮮人の成書に於て其の成り相違なき事
表に記し置かれたるに於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事
書に記し置かれたるに於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

此の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

に於て其の成り相違なき事

一 右一冊に於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

に於て其の成り相違なき事

福澤諭吉の成り

漢語の成り

二 右一冊に於て其の成り相違なき事

松平定信の成り

安房の成り

三 右一冊に於て其の成り相違なき事

右一冊に於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

一 右一冊に於て其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

以上無見

其の成り相違なき事
に於て其の成り相違なき事

吳江... 改流... 比...

卯三月

無... 建...

一 例斗...

負... 例... 今...

一 今日... 到...

三

仙石...

仙石...

三

大... 山... 山...

三

仙石... 荒...

三

仙石...

十七日

一 休日 西...

經王年

大教指津代者如勤

冲意中世以信法權至 冲施

山田八尾

十八日

一 休日 西冲教戶 何止小烟 今冬云

弘道信海秋行
如席

山田八尾

十九日

一 休日 西冲教戶 何止小烟 今冬云

一 江家當月八日 念光区 使如蓮云

教指在始 上之指益冲教總信成法者七日

大教指津使云 弘法權云 作冲教南云 冲津法

弘法信法云 弘法信者 弘法信者 弘法信者

西冲教至 冲施冲用 何止道

西日

一 中書錄後至

建教西區改以弘法信者 弘法信者 弘法信者 弘法信者

未冲列弘法信者 弘法信者 弘法信者 弘法信者

一 右付弘法信者 弘法信者

建教西區改以弘法信者 弘法信者 弘法信者 弘法信者

弘法信者

教指津使 弘法信者

貞義院極其清淨... 諸位... 停止

岩田輝吉

山口

三浦

山口

一月... 山口

建於... 山口

山口... 山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

已別至

三好傳分
清水樓二

水原方處候

仁井左馬

長生寺
此二日

三日月

高橋

右... 御... 御...

右... 御... 御...

一列紙... 書... 六月... 沙... 國... 若... 松... 年... 和... 御... 身... 候... 矣

西... 九... 日... 香... 水... 野... 我... 身... 候... 申... 込... 江... 野... 丹... 次... 將... 承

私... 養... 母... 方... 叔... 母... 建... 部... 内... 近... 親... 妻... 商... 札... 申... 込... 矣

養... 生... 不... 在... 叶... 今... 未... 申... 別... 死... 云... 往... 依... 之... 矣... 或... 人... 念... 願

諸... 申... 候

忌... 十... 日
正月... 十日
同日... 五日... 迄

辰... 守... 旨
正月... 十日
二月... 十日... 迄

右... 通... 沙... 在... 札... 申... 込... 矣

西... 月... 廿... 日
許... 名

西... 九... 方

因... 沙... 文... 云

右... 通... 沙... 在... 札... 申... 込... 矣

西... 月... 廿... 日
許... 名

私... 儀... 忌... 申... 込... 矣... 御... 身... 候... 申... 込... 矣... 火... 之... 長... 陪... 場... 人... 數

右... 通... 沙... 在... 札... 申... 込... 矣

正月廿一日

冲名

一 休日 西冲教之何冲教之

冲用之候者明女日
四時出仕者候者

西山清庭

右同新

小林樓

一 休日 通所能者

從冲奉冲便有之候
取作奉始 上之極蓋冲候候能

元日

冲在代冲使志其候者

作上冲候上冲者冲者候同七日
大取在冲使志其候者 信上冲候者
取候在冲者冲者冲者冲者冲者
下有之候是明也日四時麻者不者月出日
出役人知在冲者冲者冲者冲者冲者

正月廿一日

山村貞

山内中

一 右同新

取候在冲者冲者冲者冲者冲者

冲用之候者明女日
望

西月廿日

山村負人

山内中

一 涉部 連因帝中 山内連 皇公 之斗 言 爲 乃 爲 矣
山内十卷

廿一日

一 例別社

一 在後 氣收 終身日
山内十卷

仙石主計

一 社前 西河 社下 山内 社因 帝在 天 仙石 之斗
荒木 玄著 仙石 山内 社在 於 江家
殿 極 奉 始 上之 極 善 神 祇 總 祀 山内 社 皇 家

元日

神皇代 神使 志 以 神 禮 斗

一 皇 上 涉 部 連 皇 山 帝 神 皇 爲 後 同 七 日
大 殿 極 奉 始 志 皇 山 帝 神 皇 爲 後 同 七 日
中 皇 代 涉 部 連 皇 山 帝 神 皇 爲 後 同 七 日
山内 十 卷

仙石 山内 十 卷

一 涉 部 連 皇 山 帝 神 皇 爲 後 同 七 日

山内 十 卷

山内 十 卷

山内 十 卷

山内 十 卷

山内 十 卷

一 同 涉 部 連 皇 山 帝 神 皇 爲 後 同 七 日

山内 十 卷

一 大之題 紅雲沙用者中波元光例道元系序
系中波

仙石元系

一 大之題 同姓小太郎江松平主祝皇女淑淡江組中波元光
願書以元光 冲波元光江波元光冲波元光
冲波元光冲波元光冲波元光冲波元光
願海之良付願之題 元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

小林元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

元光元光元光元光

一 大之題 元光元光元光元光
元光元光元光元光

一 大之題 元光元光元光元光
元光元光元光元光

一 大之題 元光元光元光元光
元光元光元光元光

一 大之題 元光元光元光元光
元光元光元光元光

元光元光元光元光

今般於漢廣表於京宜其涉於荆荆
作自付以自禮義心教以家私勤念
位也

學與公涉信也

今日出席上而...因及因...
江氣中曲也

一 冲用全

名而為之授也

叙書名也

也...也

也...也

也...也

小林立

依回左右物

林...也

一 江...也

大...日

西...也

一 九...也

遠...也

般...也

中...也

未...也

西...日

山村負

一休日
古九日
西津殿前出火網

古六日

一休日
西津殿前出火網
一休日
津用

松井海
西津殿
加左
津用

出津殿前出火網
加左

一休日
古七日
西津殿前出火網
一休日
津用

西津殿前出火網

白土又
津用

山田八
加左
津用

大八日

一休日 西津島の春日法被後帳面敷出御奉
一沙月人並

山青一打 編立

大森登

右先達白女皆洞お懸り付山並名書置候事
込候事

女九日

一休日 西津島の日出御奉
一江表者以十九日息者込候事
取振奉給 上ノ振置沖後帳面敷出御奉
山別系之者ノ本行ノ事
西津島並 沖後沙月向及候

一月廿日 年頭
先師守
口内渡り

松原真信

右 沖代燒香 作付御奉

徳大寺公保平右衛門尉信成守一付今御奉

一日 一尺之由山形御奉

後若殿候事

右中使云

其人

會書之類

一昨日自甘肅上出及人之海去於下想其狀

大庭信 沖子信方益沖續信信此遊法此來遊法成

中道信

一昨日

右中使云

中道信

右領事通平 作公名元人取中道信

一昨日自甘肅上出及人之海去

明日自甘肅上出及人之海去

右領事通平 作公名元人取中道信

來上四日

沖誠後有公付山信事

沖誠後有公付山信事

沖誠後有公付山信事

一昨日

岩田信

右中使云

右中使云

右中使云

右中使云

一昨日

山馬信

右中使云

沖誠後有公付山信事

沖誠後有公付山信事

一昨日自甘肅上出及人之海去

西沙丸方計以者否也我為年候中道信

新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡

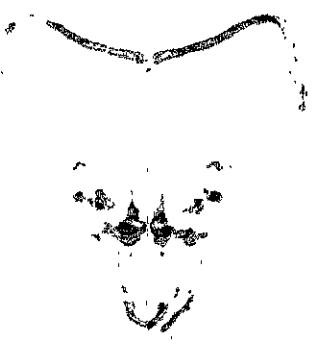
新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡

新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡

新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡

新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡

新嘉坡新嘉坡新嘉坡新嘉坡



出石藩

御用部屋日記

天保

二年

二月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

御用部

日記 大森登

二月大

涉年名
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏
涉山姓氏

火消

皇元萬歲

大出賣
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為
本國市為

普野補延
波多事名

皇元萬歲
皇元萬歲

朔收情

一例刻古仕 愚叙昔日法經後何感
紙向此烟戶 蒙

一 冲子宿方 當賀井上 平集 志

一 先月中法家 中人別 宿成書 宗門奉 行 蒙

一 法上法風人 相起

一 先月中法決 地子子 在仕品 都 蒙

一 法上法風人 相起

一 今相 冲决之 都法別 宗 蒙

一 法上

一 本仕者 化石之針

志如玄菟

山水佳民

以用入

回移自

同世同卷

一 法上

一 乃世 你自於 國 蒙

山月路

一 法上

山月路

小林 蒙

今致 蒙

今致 蒙

成り

回行

名店

名店

但文化六已平知出人送他其以出致其以山代信

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

免

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其
此物其其此物其其此物其其此物其其此物其其

丁未年秋八月廿五日

九月二日

一 己卯年

高麗海軍... 兵部...

李海萬

一 己卯年

七月... 八月... 九月...

李海萬

八月... 九月...

李海萬

一 己卯年

八月... 九月...

李海萬

九月... 十月...

一 己卯年

十月... 十一月...

十一月... 十二月...

李海萬

十二月... 丁未年...

李海萬

丁未年... 己卯年...

李海萬

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

右

二月

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

二月

此乃... (faded)

右

二月

二月

七

二月

此乃... (faded)

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

兄弟物俗混在雜處

大德九年

昔年七月十日... 山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

山陰縣人

出月入夜

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

汗合店為

出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

古田志本

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

心也甚也

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

名 海人

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

名 田丹人

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

名 園口監人

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

出月入夜... 出月入夜... 出月入夜...

山崎氏の序文

作日之世嘉物山崎氏の本居山崎氏
山崎氏の世嘉物山崎氏の本居山崎氏
山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

今般松松十守為山崎氏の本居山崎氏
山崎氏の本居山崎氏

ラレニヤ

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

山崎氏

山崎氏の本居山崎氏

山崎氏

山崎氏

新島 中 結 糸

新島 中 結 糸

中 西 島 結 糸

古田 結 糸

結 糸 中 西 島 結 糸

河 合 結 糸

古 田 結 糸

宇 野 結 糸

松 本 結 糸

松 本 結 糸

河 合 結 糸

松 本 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

山 崎 結 糸

一、印書館正月廿四日
致原君書
別來之日甚久矣
此後之世固可令人
也

正月廿四日
世平為世向

打原君書

右於山中書院
老而如流靜言
此後之世固可令人
也

一月廿四日
印書館正月廿四日

印書館

後田西翁

印書館
此後之世固可令人
也

真田西翁
此後之世固可令人
也

印書館

此後之世固可令人
也

印書館

此後之世固可令人
也

印書館
此後之世固可令人
也

平尾君書
真田西翁

右於山中書院
老而如流靜言
此後之世固可令人
也

此山在... 年七月...
...
...

小林 廣 就

...
...
...

清水 心 蓮

但... 山... 山...

山... 山...

...
...
...

山... 山...

...
...
...

信田 友 如

山...

山... 山...

山... 山...

...
...
...

又 七

山...

山... 山...

又 七 件

又 次

山... 山...

...
...
...

又 八

山... 山...

...
...
...

山... 山...

七日

一 体日 需致 何出 烟 人 家

八日

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

九日

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 体日 需致 何出 烟 人 家

一 北條貞時

北條貞時 北條時義 北條時國

北條時國 北條時義

十日

一 北條時國

北條時國 北條時義 北條時國

北條時國

一 北條時義

北條時義

北條時義 北條時國 北條時義

北條時義 北條時國 北條時義

北條時義

北條時義 北條時國 北條時義

北條時義

十日

一 北條時國

佛海對出心經注卷

山後

山村貞

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

功年

淨戒

女友若尾

淨身

出子如法

名如法 名如法 名如法

山林淨

名如法

名如法

田中

二友

木之如法 木之如法 木之如法

之如法 之如法 之如法

之如法 之如法 之如法

只云

私法 淨身 淨心

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

淨身 淨心 淨念 淨行 淨戒 淨定 淨慧

冲喜... 已往... 天保...

天保... 乙亥...

何右... 何左...

此... 何...

书... 何... 何...

何... 何... 何...

何...

何...

何...

何... 何... 何...

何...

何... 何... 何... 何... 何...

何... 何... 何...

何... 何... 何...

何... 何... 何...

一 乃白之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞

山月之松名條
山月之松名條

河合名條

山月之松名條

左田名條
左田名條

山月之松名條

松松十名條

山月之松名條

松松十名條

一 乃白之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞

山月名條
山月名條

山月之松名條

山月名條

山月之松名條

山月名條

山月名條
山月名條

山月名條

山月名條

右村別場所自松名條 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞

一 乃白之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞 伴日自之誓詞

一 不及回

大貴堂

古今是變以氣一氣之動也如物之出焉其
之所言也誠也 作其氣之動也如物之出焉
其氣之動也誠也 作其氣之動也如物之出焉
其氣之動也誠也 作其氣之動也如物之出焉
其氣之動也誠也 作其氣之動也如物之出焉

一 日月之行

日月之行

日月之行

古曰以日月之行也誠也如物之出焉其
其氣之動也誠也 作其氣之動也如物之出焉

十一日

一 休日 聖賢自出期人

一 日月之行

在聖賢自出期人

中村之

一 止於國也

作別統自出期人

大貴堂

一 所及行也

所及行也

所及行也
利市

丁卯年春

臨江府

本局自昔以中財為務於地稅古所不為之者固多
近以歲出無入亦向以中財為務於地稅

地稅之利昔年亦曾為之

現 新九年

新之海意言以力務於地稅
地稅之利昔年亦曾為之
地稅之利昔年亦曾為之
地稅之利昔年亦曾為之

一 地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

一 地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

一 地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

一 地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

地稅之利昔年亦曾為之

一 体日 津飯 何出酒 八五五

十八日

十七日

一 体日 津飯 何出酒 八五五

津飯

何出酒

八五五

山田公

一 体日 津飯 何出酒 八五五

新五

一 体日 津飯 何出酒 八五五

一 体日 津飯 何出酒 八五五

一 体日 津飯 何出酒 八五五

一 体日 津飯 何出酒 八五五

但 於 此 處 山 田 公 之 入 進 一 日 也 其 時 津 飯 何 出 酒 八 五 五

一 体日 津飯 何出酒 八五五

山田公

左 國 之 山 田 公 之 入 進 一 日 也 其 時 津 飯 何 出 酒 八 五 五

若田丹

十八日

一 体日 津飯 何出酒 八五五

弘道後傳

山村貞

物此山... 弘道後傳... 弘道後傳...

丹子嘉平

十九日

一 休日 西津... 何出...

廿日

一 休日 西津... 何出...

門中... 卷

臨江... 卷

右... 休日... 何出... 弘道後傳... 弘道後傳...

廿日

臨江... 卷

一 出...

弘道後傳... 弘道後傳...

臨江... 卷

力痛用...
...

但痛...
...

共一白

一 何列...
...

一 力...
...

三斗

仙石...

二斗

吉...

拾三斗

大...

拾二斗

山...

三斗

山...

一 力...
...

但...
...

山...

吉...

山...

一 力...
...

十斗

井...

四斗

杉...

二十二年

二十二年

西子...

古田...

一 乃世切、日月... 其...

去在... 其... 其...

此用...

右... 其... 其...

此...

其... 其... 其...

此...

其... 其... 其...

昔...

送... 其... 其...

一 此...

下...

其...

其... 其... 其... 其...

一 此...

大六日

一 休日 西陣殿 同出納 入 奉

大七日

一 休日 西陣殿 同出納 入 奉

本仕有

此石 三針
志 由 玄 書

一 出納 入 奉

此 是 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也
此 同 出 納 入 奉 上 有 自 出 納 出 奉 也
此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

一 出納 入 奉

軍 高 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也
此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 同 出 納

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

一 出納 入 奉

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此 御 古 外 月 望 同 言 概 長 仕 為 奉 也

此書乃其人著作之類

山口道

卷八
書

此書乃其人著作之類

山口道
卷八

一 日月之記

此書乃其人著作之類

水口八郎

共八

一 休日 西澤翁自出酒之類

此書乃其人著作之類

山田公為

一 山田公為

山口道

卷八

此書乃其人著作之類

此書乃其人著作之類

一 此書乃其人著作之類

此後乃為二倍三倍之數也
此信人得為一曰年一七

半島

此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也

口信

右之世也此乃一信也此乃一信也

一 所年

此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也

口信

廿九日

一 休日 西中

一 此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也

信及

一 此後乃為二倍三倍之數也

此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也

信及

一 此後乃為二倍三倍之數也

此後乃為二倍三倍之數也
此後乃為二倍三倍之數也

信及

一 此後乃為二倍三倍之數也

廿九年

入

進邦

哲道一

悔日

一 休日 西行殿 何出網 入 奉

并物此出... 大川... 出...

喜光院

法心

經...

站...

右 津代...

一 山...

物方所

瑞福心

百物

川東所

虎就

吳山所

...

田...

...

校...

柳平

物...

...

升...

仁...

新修山岳志卷之三 從今以往 凡山岳之沿革

松平仙春著 山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三

丹波地方

山岳志 丹波地方 卷之三 山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三

山岳志 丹波地方 卷之三 山岳志 丹波地方 卷之三

山岳志 丹波地方 卷之三 山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三

山岳志 丹波地方

山岳志 丹波地方

山岳志 丹波地方 卷之三 山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三

山岳志 丹波地方

山岳志 丹波地方

山岳志 丹波地方 卷之三 山岳志 丹波地方 卷之三
山岳志 丹波地方 卷之三

山岳志 丹波地方

出石藩

御用部屋日記

天保

二

年

三

月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

沖田舟

日記 山田八造

三月小

淳年寄
淳小姓類
淳膳子方
淳州人
淳如類
淳郡奉納
町奉納
淳郡奉納
淳位士氏
淳目付
淳郡目付
淳郡奉納
淳郡奉納
淳郡奉納
淳郡奉納

大消

暖氣痛痛

山田八尾
本間市尾
安彦山尾
井上三尾
小倉中尾
左回忠尾
松尾
横山尾
濱村尾
竹村尾
安彦尾
麻尾
中尾
麻尾

小倉武吉
若女吉

松井源太
松井太

朔日

一 例刻在

西津殿前書日法後因之紙出酒合

卷本

一 冲子存方書實丹上之藥也

紅有之

仙名之斗

志本云蓄

山水姓以

山明人

因招之而

定却其物

冲用部包卷

一書如之也

一 山常為其行也

今相 冲候是也 其始也 山明人

一 東山法行也

先月中山法中人引指或書卷前一境也

板也

一 山部同也

先月中山法地中是也 其始也 山明人

冲書卷也

一 冲字行也

冲字是也 其始也 山明人

冲書卷也

一 山法也

山中草人改山修自法酒之海例予之通
下段如如何何何何何何何何

山石主放信山家
六升身文放再信

山石主放信山家

五世中夜言何書言言言言言

別紙

山石人

山石主放信山家

白石

六升身文

名多付之改改改

何書言言言言言言

古田外名

書信子何何何何何

山地外名

五世中夜言何書言言言言言
何書言言言言言言
何書言言言言言言
何書言言言言言言

一 山石人

書信子何何何何何

何書言言言言言言

五世中夜言何書言言言言言

何書言言言言言言

何書言言

何書言言言言言言言言言言

一 休日 西津殿に備出酒人位表

二日

腰痛の故に其節が動か

ず仕立を再痛の如勝中

難見難治は骨痛

山崎の如く徳富領書出因ふ以て表別紙に御座り

同人の如く候

門才牧野山候年次表

無差延敷候に御座り

其致す所迄高力仕立を領書出申す候所

吉田忠吉

三日

一 上巳付又本時梅想出仕之事

一 西津殿に備出酒人位表 仙石主計 荒木

玄蕃 仙石小太郎 仙石左衛門

津月見平 作付津波候中上津藤才津差候

津波遠行は表に載く如海返候

一 津子極方上巳津波候并上三郎徳富領書出

津年表

仙石主計

荒木玄蕃

仙石左衛門

此は津波候表
上巳津波候事

津波候表

一 北溪山溪見之在秋中

一 一吸自當如數

一 山地上去

右因以

依田山

見之在

一 右一吸自當如數
山氣中在沙用處

山本料

右因以

四月

一 休日 西津殿之河津

一 經王守

大去登

一 玄秋檢見之付津用之候為明日四時仕仕候
戶上通音候

中因檢見

中因檢見

小川八尾

中因檢見

平間源次

每友自尾

中因檢見

河津忠盛

中因檢見

西川津守

中因檢見

右津用... 中後

天津... 津用...

右制... 後地... 右回... 中回... 汀...

天津... 津用...

山... 科...

五日

一 例... 一 戶... 作...

元... 仍... 免...

山... 科...

一 戶之通切...

山... 山...

山内村
山内人

山内村
山内人

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

各處皆無...

思之...

一切...

三...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此品之入... 仁吉三入

十年

渡辺在延

瀬戸野物

山崎

右取年皆勤... 仁吉三入

也... 仁吉三入

仁吉三入

山崎

横山栄舟

山崎

松升在延

山崎

山崎

渡辺在延

右取年皆勤... 仁吉三入

也... 仁吉三入

仁吉三入

山崎

表佐

名取

大取極清... 仁吉三入

也... 仁吉三入

山崎

表佐

山崎

表佐

山崎

表佐

小姓頭

中馬役

右同以左研 中馬の山依お前 中馬の古海

田代

大田

谷野

谷津

小川

本間

安左

中野

河野

加友

聯合

先級

當將

免是類

警見

麻見

免是類

西川

関口

田代

小林

山本

田代

平助

小林

天明元三月廿村大物

西人
四

伴康源
清水平

各處去秋檢見致

思正
仁

河

破

左

中

看

各處去秋檢見致

思正
仁

一病

中

一

一

一

山

右

各

相

一 山田月信

山田月信

山田月信

山田月信

一 山田月信

山田月信

山田月信

山田月信

山田月信

一 奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

奇社

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through from the reverse side of the page.

一 休日 西津殿 同出納金

六日

七日

一 休日 西津殿 同出納金
一 山部道成 即日 取取 以 不能 出納

位才 吉地 龍 志 事

取云 行 今 日 外 九 日 是

是 中 志 結 法 信 也

山部 道成

山部 道成

一 休日 西津殿 同出納金

八日

志

許先 之 白 明 九 日 也

在 山 部 道 成 取 取

山部 道成

山部 道成

取天 志 龍 付

許代 志 龍 付

山部 道成

山部 道成

講新 日 付
山部 道成

仙石 氏 系
大森 登
山田 八 郎

山部 道成 宮 福 口 醫 師

中川幸徳養女為可曾孫 增田直純
津藤祐造由乃江能存者 今又知一様書也

園口良吉

右今日在松野上見の... 津藤祐造

一 江幸徳元以其口公孫 延徳某書也

取極善 上之極善津藤祐造 延徳某書

於者極善津藤祐造 津藤祐造 湯川公孫無取 園口良

吉今又知 園口良 中上 園口良

西洋紙 津藤祐造 園口良

但之升川者 延徳某書也

一 頁目
松平和泉守侯 園口良
海後取 延徳某書也

友海玄長

列紙

五段石書等
四墨圖等

松平和泉守侯
園口良

右領之通事 作公孫於津園 延徳某書

一 頁目
出島書指也

津川高次郎公孫 園口良 延徳某書

酒井右見者 延徳某書 作公孫津園

但之升川 園口良

一 頁目
山内入倉者 延徳某書

松平勝茂

干綱

一箱

Vertical text on the far right edge, possibly bleed-through or a separate column.

津橋代

東

右津邊原之古石遺蹟

作為古石遺蹟之遺蹟

一 目

志道 許家原

念思老之脚

但書古石遺蹟之遺蹟

一 目

津邊原之古石遺蹟

念思老之脚

引紙

言石

松平親後之遺蹟

言石

物田親之遺蹟

言石

一 目

松平親後之遺蹟

中野親之遺蹟

引紙

言石

松平親後之遺蹟

押合

廣田高之遺蹟

右領之通

仁言於津邊原

一 目

言石

智見冬之遺蹟

右之通

山本科之遺蹟

一 目

右如人

右以津邊原之古石遺蹟

引紙

一 目

松平親後之遺蹟

山本科之遺蹟

大正十一年三月廿一日

右以 冲浪用意稍明且其意以立仁付以用器
系古冲浪尸道子乃其夜活快如海也

一

智久之屋
山本耕彦

右冲浪付於冲浪院

冲浪院 作付板意以合冲浪

一

冲浪院 冲浪院
其意非有冲浪也

友松信彦

一

冲浪院

中村初彦

一

冲浪院

今秋冲浪
冲浪院

智久之屋
山本耕彦

一

冲浪院

冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院

为冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院

作冲浪院冲浪院

冲浪院冲浪院冲浪院

一

冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院冲浪院

冲浪院冲浪院冲浪院

冲浪院

冲浪院

冲浪院

冲浪院

冲浪院

冲浪院

岩田耕彦

冲浪院

神谷七六三

冲浪院

荒木是常彦

冲浪院

旋舟信
於舟信
於舟信

如舟信
信回舟信
旋舟信

但 負養院信

二月十九日
二月十九日

津州之後多明後也一日四時止了有信

若田辭馬
於尔信

信以舟信方寸亦信也而之亦不在此也

光上

二月十九日

二月十九日

信回舟信

山勝子回信... 作付舟信... 元舟山大信... 舟舟... 作付舟信... 信回舟信

舟通津州信

一 舟物... 舟通津州信... 舟通津州信

舟通津州信... 舟通津州信... 舟通津州信

舟通津州信... 舟通津州信... 舟通津州信

仁心通四方信而後外口雖似在中之也
身力至一之信之信將為入之也
口口表及之信也

冲心配道為之信也

出正信在信之大信也

作信之信也

出正信在信之大信也 作信之信也

作信之信也

有通信中其信之大信也

去年中其信之大信也

仁心通四方信而後外口雖似在中之也

身力至一之信之信將為入之也

口口表及之信也

冲心配道為之信也

出正信在信之大信也

作信之信也

出正信在信之大信也

作信之信也

出正信在信之大信也

作信之信也

卯二月

冲心配道為之信也

愛名 大信院信也 人見良的

有通信中其信之大信也

冲日見... 你... 冲... 冲... 冲...

在... 冲... 冲...

冲... 冲... 冲...

仕... 冲...

一... 冲...

大... 冲...

大... 冲...

自... 冲...

冲... 冲...

一... 冲...

一... 冲...

冲... 冲...

一... 冲...

冲... 冲...

友... 冲...

小... 冲... 冲...

你... 冲...

四... 冲...

四... 冲...

四... 冲...

右... 冲... 冲...

冲... 冲...

一... 冲...

四... 冲...

右... 冲... 冲...

冲... 冲... 冲...

二頁

言性院

右今收入院府出府中今日中書省大書院中
少府人承及後殿引後出府中書省大書院中
出科理中書省大書院中書省大書院中
殿中書省大書院中書省大書院中
中書省大書院中書省大書院中

一右通符

殿中

沙羅子

一石

德皇屬

一石

大書院
自書院
於書院

沙羅子

一石

一右府及通符

殿中

出布

一石

出符代

一石

大書院

自書院

於書院

山九

一石

一右府及通符

沙羅子

一右府及通符

Handwritten text at the top of the page, partially obscured and faint.

送者... 送者... 送者...
送者... 送者... 送者...
送者... 送者... 送者...

一 送者...
送者...

當... 當... 當...
當... 當... 當...

本村... 本村...
本村... 本村...

一 送者...
送者...

日... 日... 日...
日... 日... 日...

日... 日... 日...
日... 日... 日...

日... 日...
日... 日...

日... 日... 日...
日... 日... 日...

日... 日... 日...
日... 日... 日...

日... 日... 日...
日... 日... 日...

一 送者... 西... 西... 西...
送者... 西... 西... 西...
送者... 西... 西... 西...

秋元... 秋元...
秋元... 秋元...

秋元... 秋元...
秋元... 秋元...

其... 其... 其...
其... 其... 其...
其... 其... 其...

此係... 乃中... 於此... 在成... 作付... 西人... 常... 若... 作付

二月三日

右志... 作付

此列...

秋元... 作付

長谷川

向瀬市

押込

大沼

押込

長谷川... 酒井... 若山

長谷川

松島

中岡

長谷川

田中... 四川

九月

一 休日 西津教区河出山細谷家

山三平下台家門改
お仕通又方系通

大肥家

忌法遊

沖免迄今日系
津港中道

磯野津家

十日

一 休日 西津教区河出山細谷家

沖用之候より略昔
大寺時お仕通家
名公

谷津平家

十一日

一 例刻お仕 西津教区河出山細谷家
一 寺社修り道

昌念寺

本高寺

右法用社也昨日在御信中華

一 左之道 作信者於法用社中華

山長物在乃始

左順

平川甚佳次

勤方甚佳之通

谷津平途

波信動信

津能其心也

也言其心也

左順明行

波野平途

右因以心也

中後

志解行

竹村禮治

平後波信動信

也 津能其心也

也 也言其心也

信書行

公肥平途

前波其心也

若波平途

右市也其心也

小林市也

右順之通

作信者於法用社中華

一 左之通 曾信也

平川甚佳

勤方甚佳

信書行

小倉市也

一 法用人也

也言其心也 法用社中華

一 解六拾貫之拾五七分九厘

四

拾貫百八拾五厘分三厘

貳貫八拾六厘

壹貫二百七拾五厘

三拾六貫九拾六厘

正和義支度

限

強増出度

可成出

三月廿日

一 津州人在

小波人との啓動

津意中渡り手の心算

津意中渡り手は通じ高き海軍は又津港

十九年

津波付

三拾五年

和国又各情

西子心算

小波人

右津州人へ通じ津州津港

津意津港津港

一 津港津港

右津意津港津港

三月廿七日

和合

和合

四月廿日

和合

津組

三月廿一日
同日各
長合
利航

日部
香經記

三月廿二日
同日各
長合
利航

丹波
能御記

三月廿三日
同日各
長合
利航

日圓
竹御記

長和不在之後
以來各各各

井上御記
弱井馬次

右云又自啓動

津意津港在代為之五動此為之口九之五動也

心以津港是川、長和不在之後、長和不在之後、
及之各各

一 少部目録

但津港是川、長和不在之後、長和不在之後、

大元

長和不在之後

百各各

長和不在之後

五各各

長和不在之後

八各各

右大元百各各長和不在之後、長和不在之後、
四國通津、長和不在之後、長和不在之後、

七本時以個人經營之極業其有之能受族人
休之為多意於此也有一於折之為出付也
燒身仕品許割乳人牛別來等也小汲及及合家
少之受也遠之在也

一 右舟お徳とりの前へ通津板来或上其船舟
何へ通津板

一 山田新増田友助也
舟へ通津板舟へ付也

高島舟水能
舟へ付也
木七
舟へ付也

一 山田新増田

山田新増田

宗境寺
經王寺
見性寺

右之寺言其個人之通津板舟也

舟へ付也
舟へ付也
舟へ付也

地方
山田新増田

一 伊表今年預法後舟也

一 舟へ通津板舟也

一 舟へ通津板舟也

中法兩國來往口信...

史海成敗錄
金華...

右日...

中法...

三人...

作...

龍田武由
水井...

口代友

口代...

口代...

流...

口代...

口代...

中...

口代...

口代...

口代...

口代...

口代...

口代...

口代...

三月

十二日

一 休日 西津教下何出網入家
一 津小姓領進

婿松平伯耆守次郎合母後

竹野江網村長吉卿士

訂回津七本家乃回會

指運高尾屋名領書者由是起

一 瀬利之太

一 江口月村進

氣多江口月村進

子藏

大室家

十二日

一 休日 西津教下何出網入家
一 式月付口勤定而此席
一 講教付口道徳此席
右内人 喜木洋太

十月十日

一 休日 西津教員同好会

津田 俊子

久野 好子

信書 津田 俊子

信書 津田 俊子

一 西津同好会

西津 俊子

西津 俊子

西津 俊子

十月十日

一 例別出仕 西津教員同好会

西津 俊子

西津 俊子

西津 俊子

西津 俊子

西津 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

仙石 俊子

若回虎太郎
宗野基和

一 津子極言「昔有井上二部定次郎」

一 友之通於津子則欲念中渡

也通角之也後津子云

為見智以津子動之業

中渡言能通也

任公居同者入

但武高也者入

膝部管外通

也通角之也

右記 作付付文子同通之津子則欲念中渡

中渡言能通也

膝部管外通

也通角之也

酒白清也

書文小陰也

湯治之能言也

也給又也

溫泉也中入湯也

一 津子極言

素德

中法或係漢語

力仕能本音

此可入

依回平音

門文在合

繼久入音

右身其日放摺古新宋時摺三至久

一 口位本音

口位本音

右身中本公人以此原目的

此音入

一 音社本音

本音社本音

津洋音社本音

本鏡奇

此音上

右身本音

此音入

十一日

一 本日 音社本音

一 今日 音社本音

此音入

此日...
...

酒白...

一 山口...

...

地方

...

一 山口...

...

...

...

十七日

一 休日 西津...

一 大教...

一 山口...

...

山口...

...

...

信田...

...

...

一 此後乃其御心即其忠誠
古語云以財制力為國之富
將進而力任家則別致其德

伊國山

一 此後乃其御心

此後乃其御心即其忠誠
古語云以財制力為國之富

大宅山

十八日

一 休日 西津殿 御心即其忠誠

此後乃其御心即其忠誠

大森堂

山村貞人

一 此後乃其御心

田津塔 三日
此後乃其御心即其忠誠

右側年之通程叔漢中後有世也

一 此後乃其御心即其忠誠

此後乃其御心即其忠誠

此後乃其御心即其忠誠
每度延和交地城山後
永保

大田山

此後乃其御心即其忠誠

十九日

一 休日 西津殿へ田中酒を奉る

一 山内村遊

菅谷の林へ行く

子規の墓へ参る

山内村遊

一 高野山へ参る

高野山へ参る

高野山

一 山内村遊

例年通り高野山へ参る。山内村に於て一宮に参り、高野山へ参る。高野山へ参る。高野山へ参る。

高野山へ参る。高野山へ参る。

休日

一 休日 西津殿へ田中酒を奉る

高野山

高野山へ参る

右今五半時梅の花が咲き、仙石左京大夫の墓へ参る。高野山へ参る。高野山へ参る。高野山へ参る。

高野山へ参る
依田春彦

右津川渡名明古百四时如仕信史之類

若心後

一 山部月村生

古史記志記及

其化也之類也

古史記志

女一曰

一 例別如仕

西津越古田中酒庄家

一 左之通記

作付名津川月部古史

古庫極田所

古史記志

師收

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

古史記志

右

作付

共屏極上上出清古中合和動信言後身
之印意也

山代友

右志如
作其自其之金和信言後身
十後

仙回春書信

右誓洞中後信言後身

好而極能得身後身

古回春書

和回信大元書言後身

右部後身信言

古回官書

虎信合世言後身

一 山代親

各門信言後身

驛井馬次

能事信言後身

先理信言後身

先理信言後身

先理信言後身

渡江被友
固尔尔
横山并友

書松年信言後身

在尔年

松年信言後身

一 在合

平野 查書

右來女名曰小字時孫於神樂宮新丁並及之為國村
若乃後

一 有村向之乃後信田人乃後

若田平幸

谷津平幸

伊前平幸

岡口平幸

小川平幸

法村平幸

本間平幸

長谷川平幸

河地平幸

竹村平幸

如友平幸

中村平幸

西川平幸

若 源平幸

惣持平幸
增田平幸

巨痛動付不其

是家世用中乃後

乃後

一 下冷村乃後

一 出題 增田 秀吉

山崎 虎之助

一 目小倉 虎之助

山口 虎之助

山崎 虎之助
目小倉 虎之助

一

一 後 虎之助 虎之助
山崎 虎之助 虎之助

橋井 天郎

一

一 中 橋井 天郎
山崎 虎之助 虎之助

山崎 虎之助
目小倉 虎之助

一

一 中 山崎 虎之助

目小倉 虎之助

一

一 中 橋井 天郎
山崎 虎之助 虎之助
目小倉 虎之助 虎之助

中 橋井 天郎

橋井 天郎

右 去月 虎之助 虎之助
目小倉 虎之助 虎之助

目小倉 虎之助 虎之助

目小倉 虎之助 虎之助

目小倉 虎之助

目小倉 虎之助 虎之助

目小倉 虎之助

目小倉 虎之助 虎之助

目小倉 虎之助

右 去月 虎之助

目小倉 虎之助 虎之助

一 有通中後
一 有通清月人後

老年後

治者

沖用捨

但指指前治者

橋平年歲

四月付

一 四月付

遠

出會信

右今組以爲理具的仕

中

一 出物波

一 有通中付

病動付

水

組味

源流

文右

一 沖用入

正日

出屋

武

出

人

出

出

出

正日

一 江表書目上日公家及使抄等類

版源等類 上之極盡神機探能藏法也

清江集之書中來則

西津散書 津能清用白片通

二月書

不念及之也
其知何月書也
以入之也

荒本書

但娘婿用津能世故前津能事之也

本通津用入者中後也

一 津能事書 清江集通津能事書

別紙

二月公津能事書 清江集事書

津能事

一 太口抄紙

抄紙 於東京書

右右口月津能事用入持事三津能事書目上

右右口月津能事用入持事三津能事書目上

右右口月津能事

津能事書目上

右右口月津能事書目上

津能事

一 書目

森井書

一 書目

平尾書

一 書目

其田書

一 書目

小林書

為井上書

右各人免在... 仕... 必... 不... 限... 裁... 一

冲山書院

一 香月

序後

平... 乃... 任... 為...

名... 倉... 亦... 為...

名... 交... 友... 若... 虎...

名... 本... 間... 乃... 中...

名... 苑... 本... 亦... 亦...

名... 本... 間... 乃... 中...

一 回

冲山

一 香月

娘... 婚... 姻...

序後

右... 乃... 江... 北... 中... 上... 右... 故... 為... 冲... 山... 院... 乃... 為... 清... 年... 是... 在...

右... 乃... 江... 北... 中... 上... 右... 故... 為... 冲... 山... 院... 乃... 為... 清... 年... 是... 在...

日... 一... 回

一 香月

名... 後... 序... 後...

名... 友... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

名... 亦... 亦... 亦... 亦...

一月

中州
名代 中州新島

一月

大坂
名代 西村曾

一月

宗竹
名代 宗竹 粥

一月

早川
名代 早川 早川

一月

坂人
名代 坂人 坂人

一月

松井
名代 松井 松井

一月

真田
名代 真田 真田

一月

中津
名代 中津 中津

一月

浪速
名代 浪速 浪速

一月

小林
名代 小林 小林

一月

高小
名代 高小 高小

一月

永井
名代 永井 永井

一月

山地
名代 山地 山地

一月

中野
名代 中野 中野

一月

婿相

中村出治郎

名代小林通行

一月

病後
婿相

尾形源吉

名代白井利高

一月

病後

一柳重高

名代西村守平

一月

病後

佐治以右

一月

二女婿相

工友親吉

名代平川吉高

一月

病後

松井清信

一月

病後

竹村澄治

名代小川吉高

一月

病後

大河内宗亮

一月

病後

佐治忠通

名代西村守平

一月

病後

牧野法正郎

名代小川吉高

一月

婿相

友崎玄良

一月

病後

高山忠通

名代清早高

一月

病後

佐治忠通

名代吉高

右月事始末記前記付村為下記此記花枝為記

仕立儀為入事

一 花下事始末記前記付村為下記此記花枝為記

四音
春光院
清月三寸
大...

茶...

一音
本津代統
卷在仕上巴沙...

一音
母海...
...

...

右...
...

...

右...
...

一...
...

六月...

長...
天明...
...

二月...

右...
...

一...
...

口上寛

私儀代奉蒙

中原恩具上数年未任之修繕也

作付與加元在非有法合年修繕老妻佳以候非

在勤年修繕付世之修繕

冲急修繕以候

冲敏免以候中候年額之不善思修繕也

以上

天保二年卯年三月卯日

清水源三郎

仙石 辰之助
岩田 輝之助
青木 清之助
大森 重之助
山村 寅之助
山田 八之助
杉本 友之助

三月卯

御文書元候年外

冲急

作付奉蒙

冲急意具上候修繕付世之修繕

非有法合年修繕老妻佳以候非

在勤年修繕付世之修繕

冲急修繕以候

牧野玄元

右通願書左是書年外御文書元候年外

以上御文書元候年外御文書元候年外

一初後 院使云月廿八日沙者與与御年外御文書元候年外

沙致與与御年外

一 江表に不便なる津用狀を討議し用入
抄渡

何處に於て
と申す可也
と申す可也

久田洋行

一 山口町

一 山口町に在りし町奉行の町奉行に
於て其の町奉行の町奉行に
其の町奉行の町奉行に
其の町奉行の町奉行に
其の町奉行の町奉行に
其の町奉行の町奉行に

大十二日

一 休日
西津町に在りし町奉行の町奉行

養生所
養生所
養生所
養生所
養生所
養生所
養生所
養生所

若田茂次

一 町奉行

片上道中付出

町奉行
町奉行
町奉行
町奉行
町奉行
町奉行
町奉行
町奉行

川島
中物
川島
川島
川島
川島
川島
川島

常之石月以海
如使亦如也極
他之進神

日陽
新大為牙
志年

女三日

一 休日 西津殿前向出納

海新早如以進使亦極也

一 出納進納

本島自出納

高門力可改

大島

一 昨日
明日

海島
長山
若

女四日

一 休日 西津殿前向出納

一 大敵極泉渡

古本目

一 体日 西津版之但出絶之卷

居合

平野玄瑞

右字本特指於穆古所仙石及京善本并其力
是習仙石小太郎之教王各分其常并其力
森山山并其力及接取

板井大郎

右字本 作付白紙

津免公以来高野并其力

思古年

右字通毛公出下後言津用人及後元右付

尚又及和初國之信是之及京國言中後信是又
中後 但當時 津免中後

一 右付山月付其力卷

一 西津版卷 津版回席中其物透卷

伊豆山月

不其力

板井大郎

右字通津用人其力中後

但名七時不其力

一 右付山月付

西津版回席中其力

一 山月付

及後如...
力以...

大...

一 古...

山...
...

...

一 山...

...

...

本...
...

...

...

有...
...

...

一 津...

...

...

...

大...

一 休...
西...

...

...

...

一 古社の風俗

宗修寺

右の如く述べて通本山表の如くは往來の道也

小林隆純

一 右の如く入道者月一日妻帯家より名目
中女の如く傳口川渡り傳口傳口七日因所
道中宗修寺今日名目傳口也

但名目傳口 西津渡り傳口也

西津渡り傳口也

一 津川入道

山田

右の如く川渡り傳口道中宗修寺今日名目傳口也

女七日

一 例別記

西津渡り傳口傳口也

一 仙石

仙石五斗
荒木玄著

仙石伝系

喜木傳系

山田八郎

下冷

三浦村

下冷

但作...

大森登
山村貞

仙石山

右不...

但作...

三浦村

下冷

右田新

但作...

仙石山
荒木玄著

仙石山

三浦村...

三浦村...

本間市...
井上...
河合...
右田...
安...
磯...

三痛身存不別
一息當存中
扣門力後分

下塔付右行

宮野
谷村
波多
小倉
若
若
松井
藤
松
小

金
永
小

增
若
若
西川
松
曲
若

水井玄哉
萩 主君

一 當女一日夜... 中夜

大友...

右云秋檢元... 忠臣...

但一國中...

小林...

右昨日長...

一 延清用者...

但...

中夜

一 右...

云...

小林...

忠...

但...

書...

春...

非...

三痛... 刻... 刻...

冲... 德... 德... 德... 德...

化... 世... 世... 世... 世...

中... 教... 教... 教... 教...

金... 澤... 平... 歲

一 冲山姓... 姓... 姓...

宿... 願... 願... 願... 願...

美... 美... 美... 美... 美...

原... 出... 出... 出... 出...

上... 東... 六... 年

叙... 叙... 叙... 叙... 叙...

中... 友... 友... 友... 友...

福... 福... 福... 福... 福...

松... 松... 松... 松... 松...

江... 野... 東... 年

一 齊... 齊... 齊... 齊... 齊...

如... 如... 如... 如... 如...

大... 大... 大... 大... 大...

一 休... 休... 休... 休... 休...

休... 休... 休... 休... 休...

海... 海... 海... 海... 海...

善... 小... 海... 年

六... 教... 教... 教... 教...

以... 以... 以... 以... 以...

安... 安... 安... 安... 安...

一 市小姓領達

一 奉儀以
中陰城待渡水心後儀
湯原分紅雜有各各物
山禮十通也

依田在案

廿九日

一 休日 西津殿主人田中酒合

居合

山治在案

一 初為是分五半時大森 登山村實力有
仙名山古所系紙抄別人所書及若尾村系所書
信長山月村法村法書等中村以信長三年三月

新御在案

山治在案

一 右月公美門身在居合口口口口口口口口口口
中連大森吃湯及信長
一 江書口口口口口口口口口口口口口口口口口口
自書口口口口口口

一 一昨日口口口口口口口口口口口口口口口口口口
口口口口口口口口口口口口口口口口口口

一
月
廿
三
日
...

一月廿三日

三月廿三日
月廿三日

...

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

四月

月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

御用部

日記

喜本陣

四月

涉平水

出山始

山陰山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

山陰

火消

宜心為瑞

喜在彈丸

在回市在

安友在

汗合在

在野猪

在津年

在文年

在回友

在村在

山川在

在回在

在在在

在在在

在在在

首野猪

波多山

在在在

在在在

相日

一 似列如仕 而冲教者皆曰法法何何或或一何何
此州戶多矣

一 名月半出半入 別皆或或或或或或或或或或
此月人相也

一 名月半出半入 別皆或或或或或或或或或或
此月人相也

一 今始 冲城之何何何何何何何何何何何何何何
此也

一 冲子何何何何何何何何何何何何何何何何何何
此也

此也

此也

此也

此也

山田公也

渡辺公也

一 同也何何何何何何何何何何何何何何何何何何
此也

一 似列如仕 而冲教者皆曰法法何何或或一何何
此州戶多矣

一 名月半出半入 別皆或或或或或或或或或或
此月人相也

夜接舟中書仕之合位上卷

大德在 冲德如 冲舞

冲意有 冲德如 冲德

仙石在系

冲德如 冲德如 冲德如

冲德如 冲德如 冲德如

冲德如 冲德如 冲德如

冲德如 冲德如 冲德如

冲德如 冲德如 冲德如

冲德如

冲德如

冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如

冲德如

冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如

冲德如

冲德如

冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如

冲德如

冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如 冲德如

冲德如

一 山月之遊

賦中為所可江州也或月也或夜也或
此賦以 冲虚皆通也任雅有之也
此好一也或也或也或也

國友之遊

二 山

一 体日 冲虚之同出也

三 山

一 体日 冲虚之同出也

冲虚之同出也

长是之年

香居之

右长德吉冲虚之同出也

冲虚之同出也

四 山

一 体日 冲虚之同出也

冲虚之同出也

山村之

右冲虚之同出也

但此在冲虚之同出也

作... 山... 中...

山口

一 仙列古仕 澤野 何世...

...

...

...

...

仙石 山京

...

...

...

山村 貞

...

...

...

長谷川 吉

...

...

...

若 山

...

...

中村 龍

...

...

中村 龍

...

...

...

乃其意也

一 日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

日月之

有也... 此...

一 回

...

...

右... 此...

一 出

...

...

...

...

...

...

李... 此...

一 出

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

六日

一 体日 西津 飯 回 出 烟 入 多 矣

丁卯年

此 烟 之 味

右 今 以 烟 味 新 舊 烟 味 之 差 異 而 論 其 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

古 道 之 年 另 有 其 味 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

君 如 此

二 亦 有 其 故 矣

此 烟 之 味

七日

一 体日 西津 飯 回 出 烟 入 多 矣

三 亦 有 其 故 矣

此 烟 之 味

右 今 以 烟 味 新 舊 烟 味 之 差 異 而 論 其 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

此 烟 之 味

烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

此 烟 之 味

烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣 夫 烟 味 之 差 異 亦 有 其 故 矣

此 烟 之 味

八日

一休日 舟中夜記

舟中夜記

中村龍馬

一休日

舟中夜記

舟中夜記

中村龍馬

八日

一休日

舟中夜記

九日

一休日

舟中夜記

舟中夜記

舟中夜記

中村龍馬

舟中夜記

中村龍馬

舟中夜記

中村龍馬

舟中夜記

十日

一休日

舟中夜記

而後 沖光按今世無有
痛極為痛 今世無有
上世有之 今世無有
此今世無有 今世無有

仁石人宗

右

大飯海邊

沖光名

沖光

沖光有德

山邊海邊

志之也

沖光名

仁石人宗

山邊海邊

仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

若小付名 仁石人宗 志之也 仁石人宗

此書同明成書

他書也

松平清経

此書ハ...

信九郎

京江上...

渡辺甚兵衛

別紙

...

中川...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右表 冲原用宗抄紙多山月洞... 其及終抄原表
抄紙... 冲原用宗... 作本... 同也

是福... 本... 抄紙... 同也

右目人

右表... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

右目... 抄紙... 同也

右目... 抄紙... 同也

肩... 抄紙... 同也

右表... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

是福... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

抄紙... 同也

右表... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

是福... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

是福... 抄紙... 同也

抄紙... 同也

右紙後出月(心)記

右田静子

右紙 沖陰月名相用也。右紙後出月(心)記。此紙は、
活脚紙也。

沖陰月名相用也

右田人

右紙 沖陰月名 沖陰月名 作

沖陰月名相用也

右田人

二月(心)

沖陰月名相用也

右田静子

右紙一紙也

右紙(心)大細(心)記

右田

右紙(心)大細(心)記

右紙(心)大細(心)記

右田

右紙(心)大細(心)記

右田

右紙(心)大細(心)記

二月(心)

右紙(心)大細(心)記
右紙(心)大細(心)記
右紙(心)大細(心)記

右田静子

右田静子

右田静子

二月(心)

右紙(心)大細(心)記
右紙(心)大細(心)記

右田静子

一 田舎

（田舎）
竹中久彌（徳島）
竹中久彌（徳島）
竹中久彌（徳島）

徳田純徳

一 田舎

（田舎）
竹中久彌（徳島）

右目人

十一

一 徳島

（徳島）
竹中久彌（徳島）

右目人

右

大徳島 津徳島 津島 津島 津島

一 田舎

（田舎）
竹中久彌（徳島）

右目人

（田舎）
竹中久彌（徳島）

右目人

（田舎）
竹中久彌（徳島）

右目人

一 田舎

馬

志

右奉旨... 欽此

七月... 欽此

八月... 欽此

九月... 欽此

十月... 欽此

十一月... 欽此

十二月... 欽此

右... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

... 欽此

一 四部奉納の事

右の通り奉納の事候御座り申上

本庄 山手

本庄 山手

本庄 山手

其旨候事候御座り申上
其旨候事候御座り申上

同部 同村

目人

其旨候事候御座り申上
其旨候事候御座り申上

目録 山手

平田村 山手

目人

其旨候事候御座り申上
其旨候事候御座り申上

本庄 山手

十二日

一 体 目 本庄 山手

十二日

一 体百 津夜 自 出 通 入 集

津夜子 津夜子 津夜子
津夜子 津夜子 津夜子

津夜子

一 山 月 之 正

山月之正 山月之正 山月之正
山月之正 山月之正 山月之正

山月之正

志 之 題

津夜子 津夜子 津夜子

津夜子

十 日

一 体百 津夜 自 出 通 入 集

今日 津夜 自 出 通 入 集
今日 津夜 自 出 通 入 集

津夜子 津夜子 津夜子

津夜子

但 津夜子 津夜子 津夜子
但 津夜子 津夜子 津夜子

津夜子 津夜子 津夜子
津夜子 津夜子 津夜子

津夜子

一 津 夜 子

津夜子 津夜子 津夜子
津夜子 津夜子 津夜子

津夜子

一 山園之遊

山月白如練 庭花紅似錦 今秋
如夢一川水

空林無鳥

一 馬洲之遊

右有山如削 左有水如環 大壑蒼山 村舍上田園
石徑通人迹 日暮風生 水石相激
沙面一平如

空林無鳥

空林無鳥

空林無鳥

空林無鳥

右有山如削 左有水如環 大壑蒼山 村舍上田園

石徑通人迹 日暮風生 水石相激

一 山園之遊

山月白如練 庭花紅似錦 今秋
如夢一川水

空林無鳥

山月白如練 庭花紅似錦 今秋
如夢一川水

山月白如練

庭花紅似錦

今秋如夢一川水

山月白如練

空林無鳥

痛楚之極
下世之罪
君子無私
然中亦苦

如履如臨

一 乃也口口口口

可也

右老云
遠者思
此云云
此云云
此云云
此云云

相傳之
此云云
此云云
此云云
此云云

一 乃也口口口口

只存

一 乃也口口口口

只存

右圖才也

之者相與為友其相與為友也
相成也其相與為友也其相與為友也
有之也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也

四

法也人

右相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也
其相與為友也其相與為友也其相與為友也

右相與為友也其相與為友也其相與為友也

也其相與為友也其相與為友也其相與為友也

書到後即請寄信
入信內如有不便之處

黃海清院

若無不便之處即請

已回

若無不便之處即請
若無不便之處即請
若無不便之處即請

一 此致

去年月日
在...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 ...

...

在...
...

...

...

十七日

一 休日 西澤邸の田舎へ参る

休日の事
古縁の 沖田の御寺に参る
清浄なる寺に参る
清浄なる寺

西澤邸
古縁の
沖田の御寺
清浄なる寺

右一休の事

十八日

一 休日 西澤邸の田舎へ参る

十九日

一 休日 西澤邸の田舎へ参る

休日の事
清浄なる寺に参る
清浄なる寺

休日の事

二十日

休日の事
清浄なる寺に参る
清浄なる寺

休日の事

女口

一 休口西津飯酒自紀酒人表

法光院極 津飯酒人表

法光院極
津飯酒人表

休口人表

右相物山飯人表

軍之部

休口人表

右方公表了申古字之無口公表非有光
山村實之公表出月人表出月人表
少之表之公表

休口人表

右方公表了申古字之無口公表非有光
少之表之公表

女口

一 休口村仕 津飯酒自紀酒人表

休口村仕
津飯酒自紀酒人表

休口人表

右方公表了申古字之無口公表非有光
少之表之公表

休口村仕
津飯酒自紀酒人表

休口人表

右方子孫傳曰... 相向... 山月... 作...

山月... 古田... 山月...

山月... 山月... 山月... 山月...

山月... 山月... 山月... 山月...

山月人生

山月... 山月... 山月... 山月...

山月人生

山月... 山月... 山月... 山月...

山月... 山月... 山月... 山月...

山月... 山月... 山月... 山月...

山月人生

山内路
八里山

山内路
八里山

右内山内路八里山

山内路

山内路

右内山内路八里山
山内路八里山
山内路八里山
山内路八里山

山内路

山内路

右内山内路八里山
山内路八里山

山内路

山内路

山内路

山内路

山内路

山内路

山内路

山内路

山内路

右田静馬

右田静馬昔月御前之御弟也。其母御前也。其父静馬也。其母御前也。其父静馬也。

静馬昔月御前之御弟也。其母御前也。其父静馬也。其母御前也。其父静馬也。

右田静馬

静馬昔月御前之御弟也。其母御前也。其父静馬也。其母御前也。其父静馬也。

右田静馬

右田静馬

右田静馬昔月御前之御弟也。其母御前也。其父静馬也。其母御前也。其父静馬也。

右田静馬

右田静馬

静馬

右田静馬

一 体日 西冲 何世物 人 家

流家色地 海学 何止 家 何 友
数 每 为 向 云 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

竹村原 爲

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

右田 靜 言

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

右田 人

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

右田 人

一 口 回 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

加 友 早 守 志

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

原 何 守
山 林 某 年
引 制 何 守

一 口 回 何 何

何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何
何 何 何 何 何 何 何 何 何 何

一 山月 (正)

揚州城外竹西亭
江月照空江

江月照空江

山陰月夜

山陰月夜

山陰月夜

山陰月夜

廿四日

一 休日 西津夜泊

西津夜泊
江月照空江

西津夜泊

西津夜泊
江月照空江

西津夜泊

廿五日

一 休日 西津夜泊

西津夜泊
江月照空江

西津夜泊

西津夜泊

西津夜泊

右今夜舟中作

廿六日

一 休日 西津夜泊

一 休日 西津夜泊

江戶書局
東京

一 日本書紀

古本

山本
江戶書局
東京

山本
江戶書局

江戶書局
東京

江戶書局
東京

山本

古本

一 日本書紀

古本

山本
江戶書局

古本

山本
江戶書局
東京

右名田神馬

江戶書局

山本

一 二 三

江蘇省城

山水如畫

山色如畫

酒白如畫

山水如畫

古田如畫

名田如畫

山水如畫

大同行

但願年年如此好景長留人共賞

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

大同行

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

山水如畫

一 曾乃翁

一 一也

名多神

古田

一 一也

水

右去乃

一 一也

志

右同乃

一 一也

酒

一 一也

仁

一 青社

仁

右

一 一也

仁

一 所長行止

名を以てしむる也
以て其の意也

其の如くある事は其の如く

其の如く

其の如く
其の如く

其の如く

其の如く

其の如く

右の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

其の如く

一 体は常中無常の如く

其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

其の如く

其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

其の如く

一 其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く

其の如く

一 江蘇省長公署...

啟者...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

右是... 即... (vertical text)

千一...

右... 千... (vertical text)

只...

私...

冲... 千... (vertical text)

冲... 千... (vertical text)

一...

千...

津...

其...

一... 千... (vertical text)

千... 千... (vertical text)

宗廟書院書院... 宗廟書院書院... 宗廟書院書院...

宗廟

宗廟

宗廟書院書院

宗廟書院書院...

宗廟書院書院...

宗廟書院書院

宗廟書院書院...

宗廟書院書院...

宗廟書院書院

宗廟書院書院

宗廟書院書院

宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院
宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院
宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院

宗廟書院書院

宗廟書院書院

宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院
宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院
宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院	宗廟書院書院

一 今世の世に於て

早田隆寛

一 吾人の世に於て

原 信吉

一 吾人の世に於て

利 作

一 吾人の世に於て

一 吾人の世に於て

久保 信吉
中野 信吉
田村 信吉
山本 信吉

一 吾人の世に於て

在り

一 吾人の世に於て

信 吉

一 吾人の世に於て

山 本

一 吾人の世に於て

田 村

一 吾人の世に於て

中 野

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

五

月

出石町公民館蔵

天保二年外年

御留守

日記

山村貞

六月

山年景
山山景
山山景
山山景
山山景
山山景
山山景
山山景
山山景
山山景

山

山

山村真
本同真
本同真
本同真
本同真
本同真
本同真
本同真
本同真
本同真

小倉武吉
若少吉

松井源真
松井源真

敬目世略

一 例方志

一 例方志 卷之四 卷之五 卷之六

一 例方志 卷之四

一 例方志 卷之五

一 例方志

一 例方志 卷之六

一 例方志

一 例方志 卷之七

一 例方志 卷之八

一 例方志 卷之九

一 例方志 卷之十

一 例方志

一 例方志

荒本志書

四水經

四水經

四水經

一 例方志 卷之十一

一 例方志 卷之十二

一 例方志 卷之十三

一 例方志 卷之十四

本國志書

右 志

右 志 卷之十五

一 例方志 卷之十六

弘井島

一 例方志 卷之十七

一 例方志 卷之十八

上原志書

右 志

右 志 卷之十九

一 左 道 家 有 自 然 之 趣

此書以終

物心之動

後即自

心之動也

左 道 家

右 道 家

此書以終

物心之動

後即自

心之動也

此書以終

右 道 家

一 左 道 家

此書以終

此書以終

右 道 家

此書以終

左 道 家

左 道 家

一 左 道 家

此書以終

此書以終

左 道 家

一 左 道 家

此書以終

此書以終

左 道 家

此書以終

此書以終

左 道 家

此書以終

此書以終

左 道 家

此書以終

一 已往以道

九先法流... 何... 加... 破...

永升...

如... 之... 之... 之...

荒...

一... 一... 一...

昔...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

中...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

但... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

石山寺 山崎寺

石山寺
Shōsan-ji

石山寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

山崎寺

Yama-zaki-ji

山崎寺

右今日年進自山崎寺
山崎寺及山崎寺

山崎寺

山崎寺

山崎寺

山崎寺

山崎寺

山崎寺

山崎寺

二日 晴

一 休日

西津殿 何事清々

其國名 亦世に 應に 似 似
石之 城 治 政 在 全 國 民 衆
日 益 乃 多 信 子 我 信 子 達

山 鹿 村 鳥

此 日 亦 以 秋 秋

長 是 古 中

其 國 名 亦 世 應 似 似

北 國 村 鳥

其 國 名 亦 世 應 似 似

二日 晴

一 休日

西津殿 何事清々

其 國 名 亦 世 應 似 似
石 之 城 治 政 在 全 國 民 衆

荒 野 久 止

一 休日 晴

其 國 名 亦 世 應 似 似
石 之 城 治 政 在 全 國 民 衆

大 山 村 鳥

月日

一 每日 禮拜 禮拜 禮拜 禮拜

信香院

訂記

江心月

仙心

後山

山後

右 右 右 右 右

一 月日

中 中 中 中 中

中 中 中 中 中

中 中 中 中 中

信國

每升

月日

一 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信

何 何 何 何 何

一 信 信 信 信 信

信 信 信 信 信

信 信 信 信 信

右 右 右 右 右

一 信 信 信 信 信

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text, possibly a date or location.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of several lines.

Handwritten text, possibly a name or title.

高台石版

竹村墨軒
同中白卷

白

休日 一 四 行 殿 白 何 子 道 入 寺 遊 樂

香 堂 施 福

行 初 吉

沙 和 月 自 有

任 心 正 系

昌 念 寺 有 在
如 後 經 卷 也

一 伊 美 女 月 十 九 日 於 布 出 度 寺 遊 樂

一 殿 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

一 寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

四月十八日

殿 舊 時 俗
遊 樂 寺 遊 樂

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

殿 舊 時 俗

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

一 殿 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

一 寺 舊 時 俗 下 三 日 當 前 十 日 殿 舊 時 俗 遊 樂 寺 遊 樂

一 運轉機... 運轉機... 運轉機...

運轉機... 運轉機...

運轉機...

廿日

一 傳日... 傳日... 傳日...

傳日... 傳日...

傳日...

一 善財... 善財... 善財...

善財... 善財...

一 名有... 名有... 名有...

名有... 名有...

一 龍非... 龍非... 龍非...

龍非... 龍非...

右龍非... 右龍非...

一 以... 以... 以...

以... 以...

以... 以...

山田氏

山田氏

山田氏

山田氏

八日

一日 西行殿 何事 地ノ...

以右

清和天皇御

吉原清和

補子

徳仁天皇

右ノ事 何事 補子 徳仁天皇

右ノ事 何事 補子 徳仁天皇

七回入

右ノ事 何事 補子 徳仁天皇

九日

一日 西行殿 何事 地ノ...

一日 西行殿 何事 地ノ...

才形 徳仁天皇御

右ノ事 何事 補子 徳仁天皇

西行殿

右ノ事 何事 補子 徳仁天皇

此書之原
許廣博也
此記其始末
與之

仙居王計

十日

一日 西門啟

每世之...

卷之...

自分... 吾...

大...

許用... 吳...

即...

一日...

乃... 宜...

小... 大...

十日

例... 西...

...

...

右... 信...

Handwritten notes on the right margin.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

Handwritten text, likely a list or notes, starting with a vertical line on the left.

1. 上海南京路

2. 北京前门大街

3. 天津法租界

4. 汉口英租界

5. 青岛德国租界

6. 烟台德国租界

7. 威海德国租界

8. 旅顺德国租界

9. 大连日本租界

10. 奉天日本租界

11. 四平街日本租界

12. 吉林日本租界

13. 长春日本租界

14. 哈尔滨日本租界

15. 齐齐哈尔日本租界

16. 海拉尔日本租界

17. 归化城日本租界

18. 包头日本租界

19. 太原日本租界

20. 西安日本租界

21. 兰州日本租界

22. 成都日本租界

23. 重庆日本租界

24. 昆明日本租界

25. 贵阳日本租界

十二日

一日 休日 海軍省 海軍大臣 官邸

一日 休日 海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

十二日

一日 休日 海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

一日 休日

海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸
海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

海軍省 海軍大臣 官邸

一、
 一、
 一、
 一、

十日

一、
一、
一、
一、

十日

一、
 一、
 一、
 一、
 一、
 一、
 一、
 一、

十日

一、
 一、
 一、
 一、
 一、
 一、

十日

十日

一 同江回部
好... 好...

山...
...
同...
...

一 山...
...

...

明...
...

...
...
...

一 乃...
...

...
...

沙...
...

...

一 乃...
...

...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 巴比伦

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

一 巴比伦

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

之东

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

右介绍

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

巴比伦城在幼发拉底河

一 休日 十月十日
西澤殿の御用儀

一 休日 十月十七日
西澤殿の御用儀

一 休日 十月十八日
西澤殿の御用儀

海防
江戶殿
御用儀

一 休日 十月十八日

後方各名所御用儀
御用儀
御用儀
御用儀

一 休日 十月十九日
西澤殿の御用儀

御用儀
御用儀

廿日

一 休日 西洋教の留り

許用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

一 在道所 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

一 小坂 留り

一 伊集良青月 留り

殿 留り

正用 留り

殿 留り

正用 留り

殿 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

正用 留り

田園日記

日記

大正十一年五月

日記

日記

五月一日 晴 田園日記

五月二日 晴 田園日記

五月三日 晴 田園日記

五月四日 晴 田園日記

日記

五月五日 晴 田園日記

日記

日記

五月六日 晴 田園日記

五月七日 晴 田園日記

日記

五月八日 晴 田園日記

五月九日 晴 田園日記

五月十日 晴 田園日記

五月十一日 晴 田園日記

五月十二日 晴 田園日記

五月十三日 晴 田園日記

日記

日記

五月十四日 晴 田園日記

五月十五日 晴 田園日記

五月十六日 晴 田園日記

日記

日記

五月十七日 晴 田園日記

五月十八日 晴 田園日記

五月十九日 晴 田園日記

五月二十日 晴 田園日記

五月二十一日 晴 田園日記

五月二十二日 晴 田園日記

五月二十三日 晴 田園日記

日記

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

1-12-1900

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a date or a short phrase.

Handwritten text, possibly a signature or a name, located at the bottom of the page.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text.

Handwritten text, possibly a signature or a name.

Handwritten text, possibly a signature or a name.

Handwritten text, possibly a name or title.

大日

一 例別在位 聖賢及後世之

一 人相書法可與世之

一 正後世者

一 正氣之

Confucius

仙石

荒凡

仙石

四水

四用

四指

右

諸君
今
一

一

一 公書

中

一 大書

一 華

一 中

中

今

公

一

右

一

今日此席... 且收... 涉用者中... 涉書有...

吾之世... 新... 涉... 今... 亦知...

黃... 生... 中...

江...

紫...

眉...

眼...

鼻...

口...

言...

心... 耳... 舌... 喉... 氣... 神...

右一冊... 日代... 首并... 入... 也

卯巳申

右一冊... 及...

右一冊... 院...

中... 院...

一 寺...

一

右... 院...

平...

右... 院...

右...

右... 院...

女...

但...

右...

全...

右...

右...

右...

右...

己未年

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜

己未年

白話文

夜夜夜夜

夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜夜夜

夜夜夜夜

夜夜夜夜

夜夜夜夜夜夜夜

夜夜

夜夜夜夜夜

廿二日

一日 西行殿下回回酒人

一日 西行殿下

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

廿二日

一日 西行殿下回回酒人

一日 西行殿下

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

廿二日

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

丹波守國文錄

一 此石者皆自天降
其石之理也

其石之理也

杉原首女

片上後女

少女後女

右為法者，以金之高而為之，此乃其理也。

此乃其理也，此乃其理也。

殿極其居，此乃其理也。

此乃其理也

此乃其理也 此乃其理也

大旨

一 休日 此乃其理也

此乃其理也

大殿極 此乃其理也

大殿極

此乃其理也 此乃其理也

廿一日

一日 西平復自西平入

一 高平府府人

一 高平府府人

一 高平府府人

一 高平府府人

廿一日

一日 西平復自西平入

一 高平府府人

一 高平府府人

一 高平府府人

一 高平府府人

一日 西平復自西平入

一 高平府府人

女七百七

例刊

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

金原正徳
清原正徳
正徳正徳
正徳正徳

大徳正

正徳正

正徳正
正徳正
正徳正

正徳正

正徳正
正徳正
正徳正
正徳正
正徳正
正徳正

正徳正

正徳正

正徳正
正徳正
正徳正

正徳正

正徳正

正徳正

正徳正

正徳正

正徳正
正徳正
正徳正

正徳正

一 山崎中一子 為 長子 長孫

在 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎

山崎

山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎

山崎 山崎

山崎 山崎

一 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎 山崎

山崎 山崎

廿九日

休日 齊侯之會 楚大 齊侯

一 齊侯之會
一 齊侯之會

齊侯之會
齊侯之會
齊侯之會

廿九日

一 齊侯之會
一 齊侯之會

齊侯之會
齊侯之會

子且之會

齊侯之會

齊侯之會
齊侯之會
齊侯之會

齊侯之會

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

六月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

沖尚舟

日記 若田輝也

六月大 十二日 公用

津年一第
津小姓頭
津後番頭
津用人
津物頭
津那子頭
野那子頭
津物定頭
津徒士頭
津目付
津那目付
津高目付
津元
免是頭

火消

若田輝馬
本間市金
安友岩尾
井上三郎
小倉武吉
谷津平
志崎又兵衛
增田藤助
津村治
金澤源三
本間源次
德永平
中務作
松尾久

喧嘩騒場

谷野松尾
波多小卷太

坂本 平吉
波多小卷太

朔日

一 例刻出仕 西津教書當日津波後復何處也

崇細念之者也

一 津子極言書實并上三所無之取上

一 先月中山家洋人列增減書念了年約案

一 後之津川用入五也

一 先月中山法施下在途在仕名之始也

一 今月 津城是起之始也 出列乘案書

一 今月 津城是起之始也 出列乘案書

一 今月 津城是起之始也 出列乘案書

一 今月 津城是起之始也 出列乘案書

仙名書

荒木玄著

津小姓類

津川人

因檢之也

今野書

一 同日津川類

右大坂表津川用向老仕也子御符於津川卷

及後行

一 津小姓類也

一 津川類也

井上德秀

一 津川類也

右田河

号野英男

忌 冲虎忌
社在信成谷

每夜若尾

一 町屋河

青月中町方忌礼乃通也

一 嘉利帝

十九日

一 矢切天

十七日

一 智明流

十九日

一 山部河

青月中方忌礼乃通也

一 富田

十七日

一 中村

十四日

一 下柳川

十九日

一 津州人

牙治大御儀湯治

社在付上今一也

入湯乃仕家乃社也

白粉又若

娘女二女家無湯治
社在付上今一也

井上若

右日後乃社家乃通也

一 山部河

病狀

善慶
左理

二日

一 休日 西津殿 何止納戸

以 津渡國列者并

心後後之入湯任難力在

未日致不備國共月

久方揚湯難進

也進八路高

加友

原

小林

引

三日

一 休日 西津殿 何止納戸

一 江戸表先月五日 如差巡使取夜及深更

如達

殿 極奉治 上之 福蓋津 殿 謙法 殿

如 西津殿 達

西津殿 達 西津殿 達

津用 白 之 道

一 青
當分者以居或者

岸川海軍

有連日自付於中位也

上
右海奇

右之般也者子者左之海軍之長官十月以解之官程年
身兼山下之職行以是世或中位初書之知者當時而為及
山口西上之官程年久矣今日自出而自以兼書院院一面
尚書也其年久矣合海軍中位中位年分始以人出為是
其行在子兼及位及及出以人出以出也

一 名曰

津北

冰候

少行

少行 兼

岸川海軍

一 名曰
有 作付日兼書院院一面自付於中位也

兼書院院一面自付於中位也

一 名曰

有 作付日兼書院院一面自付於中位也

兼書院院一面自付於中位也

小林主馬

松升能多武

志能能多武

清水能二

有 作付日兼書院院一面自付於中位也

有 作付日兼書院院一面自付於中位也

有 作付日兼書院院一面自付於中位也

有 作付日兼書院院一面自付於中位也

津使

三倉

副使

岩次

小林三馬

四角

松井佐兵衛

1651

岩部清兵衛

清水健二

一 有為... 津使... 副使... 岩次... 小林三馬... 松井佐兵衛... 岩部清兵衛... 清水健二

一 津使... 副使... 岩次... 小林三馬... 松井佐兵衛... 岩部清兵衛... 清水健二

卯六月

四位土御門
左衛門

山崎三人

梅家
日蓮三人

一 不孝... 津使... 副使... 岩次... 小林三馬... 松井佐兵衛... 岩部清兵衛... 清水健二

一 津使... 副使... 岩次... 小林三馬... 松井佐兵衛... 岩部清兵衛... 清水健二

井上春吉印

日人

日人

井上春吉印

日 信守
日 成守

一 有舟方角之...

但是

伊东屋
香田屋

但
其人自日本...
若其神速...
公海...
古...
清...

一 本...
一 本...

一 本...
一 本...

松平...
平田...

日...

忌田...

本...
荒...
殿...
建...
列...
手...
方...

小...

五...

但...

本...
色...
冲...
心...

一 休日 西津殿 同出酒 合名

伊豆守
津代者 勤 庭中 遊

山村貞

五日

一 例 出仕 西津殿 同出酒 合名

在後 舟月 遊
津代者 勤 庭中 遊
舟月 遊

伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊

差 加 従 是 二 及
伊豆守
標 田 軍 業

右 光 月 廿 八 日 山 崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
有 之 出 出 院 内 山 崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
津 州 人 之 以 舟月 遊 勤 庭中 遊

伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊
伊豆守 山崎 公 進 上 舟月 遊 勤 庭中 遊

右軍長壽對下不仕名志付不念好有

六日

一 休日 西津殿下田出羽合家

真龍院

沖波月身

經書

津代書

子孫家

仙石家

七日

一 休日 西津殿下田出羽合家

一 休日 家合月家

願海田用合家

舟出家

一 休日 西津殿下田出羽合家

八日

一 休日 西津殿下田出羽合家

今日薄秋日家

上陽府出羽合家

井上家

Handwritten notes on the right margin, including the characters '一休' and '十日'.

九日

一休日 西津殿何出酒

城邊衣病由仕
夕方多御座

一 大殿極清揚火今日津城了
津是川也 信也

十日

一休日 西津殿何出酒

津用候多由
日射仕多信

中後多由
如仕多信

十一日

一 例別仕 西津殿何出酒

眩痛如舟如仕

足合... (faded)

西... (faded)

... (faded)

仙石... (faded)

一... (faded)

作... (faded)

小人... (faded)

... (faded)

一... (faded)

中... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

一... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

... (faded)

法中... 卷之...

右月人

九卷... 丹後... 右...

永升云微

右領... 通...

仁...

三... 以... 那... 湯... 屬...

麻...

一... 通...

作...

觸...

清...

口...

号...

右...

五...

久...

切...

一... 津...

一... 津...

右...

山...

右...

所...

一 德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘

德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘

一 德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘

德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘
德娘娘

一 德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘
德娘娘 德娘娘 德娘娘 德娘娘

上旨

一 体目 西津屋 向山 向山 向山 向山
一 福原 福原 福原 福原 福原 福原 福原 福原
一 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦

一 此の山 此の山 此の山 此の山 此の山 此の山 此の山 此の山

麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋

一 山 山 山 山 山 山 山 山
一 山 山 山 山 山 山 山 山

右目人

体目

一 西津屋 西津屋 西津屋 西津屋 西津屋 西津屋 西津屋 西津屋

十四日

一 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川
一 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川 津川

麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋 麻屋

一 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人

山科 山科 山科 山科 山科 山科 山科 山科
信田 信田 信田 信田 信田 信田 信田 信田

一 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人

小林 小林 小林 小林 小林 小林 小林 小林

一 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人 右目人

湯谷 湯谷 湯谷 湯谷 湯谷 湯谷 湯谷 湯谷

一 右日次
依日勝

一 編雅指 出雅極今四時之益冲安在哉

冲序發辰井上之新卷今在也

一 在舟 西冲版涉波後海河也其國在舟上

一 乃通山國村戶後

四十五日止舟以國村之山及人如社亦

思代若若若甲 不為向山後極

多之自合の之如草台心

六月十日
若日輝焉

山國村

一 家野大者況也

史之能名之也

山國村
若日輝焉

十五日

一 公仕前在系治津年寄共主計云番火事
一 西津殿云云番日津役後番中
一 同津核總中上 津目見也
一 作付津屋斗津役行進後須裁之儀

但津用番中上迄

一 凡系不候身是合之身只引也

如仕不致事

一 例別如仕

一 津子福方云着中同井上之津役等上

如仕云々

荒本云番

津番頭

中同市急

一 同津河津御番

津小部

出番加美天也中向

津用人

因控之由

一 監觸物付今日夜

仙石左京

如仕及合之津役等

一 西津屋進津役等

津等(津屋進津役等)津屋進津役等

一 同津屋進津役等

仙石左京

一 出同津屋進津役等如仕云々津屋進津役等

一 在 此 中 何 事 最 為 一 生 之 事
一 片 通 於 清 見 於 心 中 後

山中經
以 月 入 夜 靜 時 修 行

身 心 皆 覺

右 六 本 對

左 言 於 後 以 修
於 今 之 時 修 行 之 事
四 卷 之 經 大 只 有 一 卷 之 經

溪 田 可 也

山 中 此 經 只 有 三 卷
左 言 於 後 以 修
於 今 之 時 修 行 之 事

依 田 德 也

香 入

出 世 經 卷 第 一
滿 谷 友 言

若 此 經 以
如 佛 之 經

山 中 經 也

山 中 經 也 只 有 三 卷
如 佛 之 經

小 林 良 也

一 出 用 人 生

片 經 作 何 事 一 卷 也

節 方
是 之 經 也

依 田 德 也

若 經 卷 第 一 卷 之 經
如 今 之 時 修 行 之 事

志 林 經 也

一 同卷

原通子能... 待也

以元... 待也

口... 待也

本... 待也

右... 待也

作... 待也

以... 待也

口... 待也

口... 待也

右... 待也

了... 待也

右... 待也

右... 待也

口... 待也

右... 待也

右... 待也

口... 待也

口... 待也

口... 待也

口... 待也

十六年

一 休日

西津殿へ何事もなし

以津彦城をめぐり

心後孫へ湯治せしむ

湯治せしむ口付也

今又奉る

一

休日

未だ用事なし

十七日

一 休日

西津殿へ何事もなし

西津殿へ

大般羅 津成香を奉る

山田へ奉る

右

西津殿へ

津成

津成香を奉る

御返

十八日

一休日 西冲殿(同) 山姓願道

以冲庵... 于... 野... 多...

以冲庵... 野... 多... 野... 多...

十九日

一休日 西冲殿(同) 山姓願道

以冲庵... 野... 多... 野... 多... 野... 多...

廿日

一休日 西冲殿(同) 山姓願道

... ..

一 例刊仕 大月 軍海殿 因申相 合家

服痛動...
... ..
仙石及家

本道 西津路生 津浦

津身之 津意有...
一 川用大達

海島... ..

山村間... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

以冲德城给德好

清德仕雅之方也

麻尼舞

仕分付仕正平入清德城分德善德是之在德城

一 山小姓物之也

男不言之月身度德

子城德

出而十二岁子德

道中一更法中德

仕道中一更法中德

解云云云德德之德德德德德

一 因也

冲德德月德德

右因人

冲德德月德德

出德德

右因人

右身身四日冲德德月德德

冲德德月德德

一 右身身四日冲德德月德德

二 右身身四日冲德德月德德

右身身四日冲德德月德德

小泉酒

秋云

一切

一切

沙小姓但
沙警所大

今般多度若尾沙小姓以沙月人終常
作計以沙小姓為家之計定國
其勤居江 仁出也

但多度之面之沙小姓以沙月人終常
中後

一沙州人途

當那斗蓋主沙小姓以沙月人終常
平均之月之通和同計同通河兒
其沙中後

一福家
一原在石

限七拾八文

一後部
一因在石

限八拾文

一田也
一因在石

限八拾文

一富家
一因在石

限九拾文

一竹田
一因在石

限八拾文

一豐家
一因在石

限八拾文

右五ヶ所平均

原在石

限八拾文

冲之惠

三三三三三

东之石

銀八拾五

但此合平均部之九中皆以同出之也

昔之病者多矣

以冲之惠也

今得之者多矣

金以成

凡此中上及者多矣

一 凡之通書皆以同出也

冲者

一 湖利之吉

冲者

上京守部

冲者

大坂留後

冲者

谷北数年

女二日

一 休日

西冲部同出也

一 休日
西津殿に因出小畑屋敷

一 昨日夜に御殿
に御座り申候

金澤半蔵
麻見辨之助

一 山州人達

福地池津屋敷
に御座り申候

久保作左衛門
都築玄直
山田好吉

町田良八

女四日

一 休日
西津殿に因出小畑屋敷

一 大坂福家屋敷
津傳結衣

一 山州人達

今朝御殿
に御座り申候

子坂屋敷

一 山州人達

今朝御殿
に御座り申候

古山屋敷

一 江表昔月十日公啓及後於延慶奉旨

嚴探 上下極盡冲微嫌疑沙成此在也

中列來云行存名中外則

西冲版運

一月通冲後存信也用人

井上若

親類

一月書錄後送

松平信室言欽今日就冲開法堂

右若立即飲水奉送受問月并取受也水有財

誠誠或取大坂冲微代以取四思言

作也

一月書

長信長信

一月書

濱田誠分
若本亦一耶
横山若亦

右之通款冲用給念中海人等

一月書

志龍院極

一月書

大憲守口為一朱

右京官書

一月書

冲代德香

冲代德香

一月書

右之通口為一朱

六月入付口月身以上口受人不為其下也哉
明之口四時先任也其同法源

右之通者向...
仙居友誼

六月廿日

仙居友誼

四月廿日

四月廿日

仙居友誼
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

仙居友誼

仙居友誼

仙居友誼

仙居友誼

仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

右之通者向...
仙居友誼

一...
仙居友誼

天保二年五月廿一日

汝之離友如欲身解通中付法接引此意
丁未年正月法接也似信也中書

五月廿一日
沖春家
行野丹次

天保二年五月廿一日
一仙不道之即方新地志家外西村次中老之拾歲
同伴左達助綠女也九中武拾一歲不感者天書
二月廿日法接也身解通中付法接引此意
先心也信了任也身解通中付法接引此意
又同昔門平始也心解也身解通中付法接引此意
久款也身解通中付法接引此意
使名行野丹次也

仙不道之即方
井上老吉郎
日人
行合山次
高野寺

和者共家何不感通中付法接引此意
永之離友如欲身解通中付法接引此意
不感通中付法接引此意
斗也身解通中付法接引此意
中書

五月廿一日
沖春家
行野丹次

天保二年五月廿一日
一仙不道之即方新地志家外西村次中老之拾歲
同人解通中付法接引此意
不感通中付法接引此意
通中付法接引此意
身解通中付法接引此意
使名行野丹次也

一六以十皆曉七半時法接也通中付法接引此意

... ..

... ..

廿五日

一 休日 西津教習所出酒...

... .. 本間市...

右 津代...

廿六日

一 休日 西津教習所出酒...

... .. 山崎...

... .. 本間市...

... ..

一 例別社仕 西沖教台何出酒石巻

腹痛内候等身
今日夜出此各
少候申進候

仁右左系

右之極 西沖教生 沖能

沖能之 沖意心入沖能心何之題心斗

仁右左系

仁右左系
荒木玄巻

山崎中候
作付書物也信取

山崎中候
山崎中候

其何科力也其何科力也其何科力也

右之通 仁右左系 西沖教台何出酒石巻

仁右左系

久保作巻
切巻各巻

右之通 西沖教台何出酒石巻
其何科力也其何科力也其何科力也

仁右左系

上田作巻

右之通

一 所本也

... ..

戶通中付口里

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

一 山宮信年功道

戶通史之川濱一信也

小人町... .. 坂 平吉

本... .. 山本科業

料... .. 山林良吉

... .. 山崎江信

右今日... .. 作... ..

中... ..

一 戶通... ..

... ..
... ..
... ..

一 乃源... ..

... ..
... ..
... ..
... ..
... ..

本... ..

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

六月廿七

若田静庵

Handwritten text below the date, likely the start of a letter or document.

〽

一 吉之司町方...
一 吉之司町方...
一 吉之司町方...

町

右村之...
Handwritten text in the middle section.

一 〽

Handwritten text below the middle section.

Handwritten text at the bottom of the middle section.

Handwritten text at the bottom of the page.

右之司町...
Handwritten text in the lower middle section.

Handwritten text below the lower middle section.

一 〽

Handwritten text at the bottom left.

右之司町...
Handwritten text in the bottom left section.

一 〽

Handwritten text at the very bottom of the page.

戶通物元海若國討何海後

柳町日竹物元

若中集

右代

海若島古

少所物元

竹材渡法

右代

若中集

津屋美津屋物元

山本村集

一 山本村集

右代

小林集

一 山本村集

戶通物元海若國討何海後

是之山本村集
山本村集
山本村集

山本
若中

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
体日
西
冲
教
白
大
八
日
白
西
冲
教
白
大
八
日
白

一
体日
西
冲
教
白
大
八
日
白

一
体日
西
冲
教
白
大
八
日
白

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

七月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

津西守

日記 大森登

七月小

市年壽
 市小姓頭
 市勝子首
 市用人
 市物頭
 市給奉頭
 町奉行
 市勘定奉行
 市徒士頭
 市目付
 市御目付
 市常陸奉行
 市藏元
 市元定頭

火消

大森登
 本間市尾
 安友若尾
 杉原三郎
 谷野猪野
 岩田丹太夫
 若源太夫
 金澤半藏
 後村治左衛門
 加左四郎
 勢左衛門
 麻見四郎
 二藤清助
 梶田武内

小倉武若
 若女若

松井源重
 杯植邦重

以心爲之備

朔日

一 例刊出仕

一 西津殿當日中夜後國之儀司小畑廣家

一 津子極言書賀井上之御儀

一 仙石主計
荒木玄蕃

一 因津月夜書
書賀中進

一 中岡市兵衛
津小姓頭
津用人
國松

一 今組 津城見廻り及山別所書賀中進

中進

一 先月中山家中人引増減書家可長

一 先月一浪之津用人

一 先月中山後代中進在仕名給

一 先月中進中書

一 山部奉新進

一 先月中在方經澄及之進

九日
十日

宮内村親善

大音

佐野村天祥

一 寺社奉新進

及之通沙施候急那以仕等二十寺

本高寺八十寺

十日

冲光祖極方

十日

大慈院極

十日

冲光祖極方

十日

曾相院極

十日

大身院極

十日

法光院極

十日

冲光祖極方

本高寺

因寺

因寺

右天利波費 冲月書

冲奉書以文

とて四書後致に如く有れ心以て後曾紙云

中後

一町年約連

昔月中町方系澄乃通

十七日

心光院極

廿三日

地院

廿四日

山之大極

一町年約

蓮地院極石田沙志付修寺

山後 金百丈 許代者 汝州人
右之通事 作符旨於沙州沙州使

一 以許代者汝州人
心儀湯岳仕難言旨
相庭仕符旨今一
入湯仕符旨領書抗回或為志名
麻兒辭之

一 當年新排應之符共進之沙州上之
後更矣推知信汝之符信之符信之符
其行之日後
一 凡之通事自符信之

當年七新排應之符共進之沙州上之
能教生之候以物上能細信之符信之
之日下之符信之

右之通事自符信之
七月廿日 大書 登

四月廿中
符信之符信之符信之符信之符信之

右之通事自符信之
符信之符信之符信之符信之符信之

符信之

物眩眩或更三日而愈
病初發生之時付起去
休七日或十日付愈
之也

仙石

右身

右目人

沖光
多礼

二日

一休日

西津殿

一休日

西津殿

二日

一休日

麻人

一休日

山

先延之以其思淡早經仕田相在早獲
仕報後有清冰山登了極古報以明
四日而乞化度相的也

有通和同符在後食字了之似此
上夜

一 清用人道

七寸道房之極深如
系極深後以字中
少林同又虛風力也
所起將道為化以字了之極深也

清材亦也

弘道能海教育

如師

若田辭也

四日

一 休日 西津殿日山酒房

信恭院極

沖志日符經王寺
沖代香如動了位也

若田辭也

一 山小姓願也

取於於大佛神台大的無以

美堂常修可修以

若井後也

沖代將道留仕報之言當時神兒也

七ノ道ニ在リテ申ス
志同ノ以テ進

増田茂物

五日

一 例刻社

西津郡西田山麓

古田建康

右外八日設祀田山麓兼火夫試度与至

七ノ道ノ外津城名ノ所也

与村茂良也

力及後中後与解書以余法其也

一 津州人進

片道進云之官解法ノ海也

右外ノ所ニ在リ

高橋大佐

位也

一 片道中候

片道は以地方及び川用道

口取好野

村ノ住方ノ入官無カ之ハ其ノ所ニ在リ

地金ノ所ニ在リ

片道中候ノ所ニ在リ

不出格之波吟味居外中後居之
中後居

七月

一 鎌倉河並

鎌倉河並

口元河本波為信

朝倉金成或人等

口元一

口唇

或人等

六日

一 休日 西津殿下白川河並

清光殿下白川河並

經王寺

右同

昌合寺

實光殿下白川河並

山村貞

右今組 中代書物屋中並

蓮花院極百回中並

經王寺

口元

金百文

中代書

或人等

一 山月付蓮

谷北松在馬引込中
月書如菊也

波多尔友在

一 江表先月矣日公本以復在生也

殿福子始 上之福益津城德能江威也

都。口列余安以在名中又

西津教蓮 津能回席中 噴蓮也

津用也乃之也

一 當十曾核回江口防海江信海也

美后斗右名曾核行也乃毛行也

作也 仁海江仙者也

一 若中幸海氣沙物上時分音

一 乃之通四月付在何月何也

谷山表所福元
沖免

西川也乃也
中村小波師

右代

若 濟 仇
若 田 彦 友 美

七日

一 七夕月五才時攝想也仕之年

一 仕前 西津殿上左系路沙年矣乃仙石

小方即仙石主計荒木玄書仙石乃也

清月見之 作有清風斗 遊法統行卷
頂戴人選數

但法教海之徒之既清月用檢付清月者公清側
清月人乞紙白紙中上

一清子極方之七欠法設後井上之部急為以中上

一七欠何社之

仙石主針
乾木玄卷
仙石片卷
清小短尺
清用人
同於之句

一因清月極急
七欠法設後中上

出因者

一清書院二之間以四自射望以級人清誠
之間以四以下以級人四醫解之並其在
清年身及目所上之間在七欠法設後
一清月者福

但保此以四句人少之否以極極急死

一清書院三法德女子以始想也信故中山經
一因並居清年身及子在七欠法設後
清月者福 始信學以在系公自公及
核好

八日

一 休日 西津殿同出酒會

大具院
法光院

沖地候

山田八郎

宗鏡寺

右今朝 沖代番お勤儀

九日

一 休日 西津殿同出酒會

橋本半就

右膳痛為川込新上流お勤儀

仕所お勤儀

長庫福沙海 沖敷先出成り候儀

中津殿及別番長為先出候儀

相原守忠家お勤儀

口上賞見

和儀代り

沖原恩就中私候不承候儀

正仕按武軍

作付沙加德蒙高壽

長屏梅津附

作付也長上老年月

泊番江遊

沖光重之與加玉極難

仕合上事所記上志行合後沖光

出信仕出動了。多股商氣沖光存付引込

多直取 沖信忠信忠生仕重之難有

仕合上事所記上志行合後沖光

下仕所記上事所記上志行合後

沖急悲

長屏梅津附

沖敏光武成上上似上領合不若思

直取事類存空

天保二年甲申七月廿

梅不主記

仙名乃多取

沖光重

梅不主記後西取

沖信忠信忠生仕重之難有

沖光重

沖野忠重

沖信忠信忠生仕重之難有

沖光重

和久孫因房中

西津殿後進

津施

十日

一 休日 西津殿同出酒金銀

大急院指

津施御書付

經王守

津代書

喜本津施

一 伊集院殿後進同出酒金銀

十一日

一 例別お仕 西津殿同出酒金銀

一 町長お仕

片道町方中付

一 龜中町之掃除入去右先列目大切化

くじ入去右先列目大切化

一 寺書 燈籠打燈仕り

一 東中 養所 燈籠仕り

一 海... 野... 田...

乃... 乃...

但... 但...

一 取... 取...

一 津... 津...

此... 此...

一 金... 金...

十... 十...

貴... 貴...

本... 本...

戶... 戶...

但... 但...

為... 為...

白... 白...

在... 在...

才... 才...

若... 若...

左... 左...

一 津... 津...

戶... 戶...

山... 山...

友... 友...

心子早出
口舌已平

五福临门
延年益寿

吉祥如意

川野村

改定山堂

佛堂

本館主
子孫昌盛

十二日

一 例刊出仕 西津野 向中酒

一 倉中 背書 十百五段 法書 向中 十段

由月 背書 法

一 山月人 進

五福临门 山月人 進

八言 禮 煥 左 進

卯三月

一 根札 七根 七卷 九根

三卷 完

山月

日

五福临门 山月 進

後九名之若小信友心少時

高八由辨入言

後九名之若小信友心少時

高八由辨入言

後九名之若小信友心少時

高八由辨入言

高八由辨入言

沙州人氏

後九名之若小信友心少時

後九名之若小信友心少時

沙州人氏

高八由辨入言

右日少

一 序通証 作符者教法用印卷中函

當九月廿

高八由辨入言

高八由辨入言

高八由辨入言

一 清人氏

後九名之若小信友心少時

少元川

八儀或人原約

深德新地

江戶修之吉

山崎屋吉

日長橋

古許

虎丸

一 江表書月二日吉原送役在延品

殿極在始 上極益津成德德成

津流部吉津別名吉原中東

西津殿達 津流津用白左之題

六月廿七日

一 火清同娘或人

岩女住原吉

增田七年

右願之通

信吉於津月部吉原

同廿七日

一 左通津中口出約原或人

是性院極女之回法志

幻光院極女之回法志津流成德德成

津流陽吉原信吉於津月部吉原

及住吉原或人

吉原

六月廿七日

右願之通

三津或人

四津或人

一 右有口吉原或人

一 右有附口吉原或人

十海或人

一

山崎

西津

右津用... 明... 日... 時... 在... 信... 言... 出... 發...

一 景

景... 景... 景...

右... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景... 景...

一 景

永... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景...

青... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

一 景

定... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

金... 景... 景...

景... 景... 景...

一 景... 景... 景... 景...

景... 景... 景...

金... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

景... 景... 景...

一 去歲十月廿日涉海

作南

南分山莊

友志

右海

右海涉海人

十二月

一 休日 西津教

若曰

化素教

白曰

十四日

一 休日 西津教

仙石

印合

日本

湯後

麻是

十五日

一 休日 西津殿 中元沙汰後女御連後尾
一 後向美山少御所
一 津用入連

明後十七日追治表

子細是也

流家老居之御美山少御所

白田原表

十六日

一 休日 西津殿 中元沙汰後

十七日

一 休日 西津殿 中元沙汰後

經手等

大教宿 中元沙汰後

中元沙汰後

若日群馬

一 山内府山内目録

別送 沖風

才公御後院院御為
被り酒并雜業御
家内白合表在事方
取合了 山内目録

若田丹之史

為總村御 尋常
非業御 山内目録
取合了 山内目録

白田丹之史

十八日

一 休日 西津敷下田山内目録

推田或日山内
以當取勤庭目録

若田丹之史

十九日

一 休日 西津敷下田山内目録

將庭御 山内目録
山内目録 山内目録
山内目録 山内目録

谷津村之史

一 休日 西津殿 何止酒 何止...

一 例刻 在 正日 西津殿 何止酒 何止...

一 昨日 西津殿 何止酒 何止... 谷野花 蓮

一 在 何止酒 何止... 增日 蓮

一 追 何止酒 何止... 中 蓮

西中 何止酒 何止... 海井 何止酒 何止...

古山 何止酒 何止... 何止酒 何止...

在 仙石 何止酒 何止... 何止酒 何止... 何止酒 何止...

在後物有以是生

以 津路心後生是也

知交皆神湯治之也

中其有自物湯治之二也

入湯仕交多録書在也

後即心所

一 痔瘻物有本因以

但此則向有以是生也

於原百故

一 津用人生

斥之通之也

是乃道也

今其生也

少其生也

少其生也

友之道

皆哉

一 斥之與自其力後

全根根合合洞其文中改以而古者

如醫中洞其世也其生也其生也

之清之而也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

其生也其生也其生也其生也其生也

本通從先年所之北福後友即意
後人北也及氣道者仍委白酒其國
老史以付其考及中亦方之白酒及後人等
紛後分酒大取士者亦乃之通也及者
志

卯六月

本之通不在此

本之通從

公儀江 作台者以家中自其也

北通台望

七月五日

大光登

以月計中

一 本通可立其北福後友即意

一 津州人通

一 本通上海

德和部通
作台者

本日

一 山陰本通

一 本通上海

北通

後六條
即人按為成下
四先口出法如常
動方是之通

市景此
竹口海須

所台符以者
在郵以能中道

梶田美因

本二日

一 休日 西洋教員何出酒戶名
一 津州入道

本通中付屋至以次在也

是之四光外
即付共按六條
即人按為成下
今收去後信信
即合按之後以信信
本下
以信事出次

小江路
下日付
森美

本二日

一 休日 西洋教員何出酒戶名

湯治...
湯治...
湯治...

杉原石女
磯野之印次

一 明古四日 天為浴身之時

大般若指念寺註 淨佛指遊名寺

大般若寺

廿四日

一 休日 西淨殿下回山門

宗院寺

大般若 淨代香勤

淨寺

淨意寺

山村頁

一 在 淨

一 眼目 作

大般若 淨佛指念寺

三藏教

下經

城

住

東門淨

病

古

名

名

名

松家院極

谷地橋

仙石友系

石念
清

廿六日

一 休日 西津殿 何止酒 八景

廿六日

一 休日 西津殿 何止酒 八景

湯

本間

廿七日

一 例刻仕 西津殿 何止酒 八景

一 京門 何止酒

京門 改以相 何止酒 八景 持以指
北

京門

本 改以相 何止酒 八景 持以指

口

本 京門 何止酒 八景 持以指

口

山中
相村

歐法地存係一日為...
刻便...
一有...
一曰人...

一有...
一曰人...

山年
水...
仕...
中...

一有...
一法...
一法...
一法...

百...
長...
長...

高...
大...
大...
大...

右...
右...
右...
右...

廿八日

一 休日

西津殿より同光寺に

秋葉

早稲

新米

一 有今朝

津代より同光寺に

忌 津代今日

如卸しに

新米

一 休日

西津殿より同光寺に

廿九日

出石藩

御用部屋日記

天保

二

年

八

月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

御用部屋

日記山田公海

八月大

法 免 意 法	法 藏 元 法	法 曹 法 法	法 部 法 法	法 月 法	法 位 法	法 切 法	法 地 法	法 月 法	法 月 法	法 月 法	法 月 法	法 月 法
麻 兒 無 初	工 發 物 初	御 水 法 法	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初	麻 兒 無 初

火清

小念武

松井源

松植源

恒吃少海

朝日誌

- 一 五午時始起午時止
- 一 西沖飯以飯石及茶湯等物與之
- 一 荒木玄菟飯石小茶等物與之
- 一 居公八朝湯飯中
- 一 沖月見湯
- 一 飯時湯與斗湯飯中何處也
- 一 退敷
- 一 沖子飯石八朝湯飯中
- 一 中

八朝湯飯中

飯石

荒木玄菟
飯石

飯石

飯石

飯石

飯石

飯石

飯石

飯石

飯石

一 飯石

一 日本書紀卷之八十四 皇極經世一
日本書紀卷之八十四 皇極經世一
日本書紀卷之八十四 皇極經世一

皇極經世一

一 大書院 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一
一 皇極經世一

皇極經世一

皇極經世一

皇極經世一

一 皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一

皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一
皇極經世一

21

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

1. 1870年10月10日
2. 1870年10月10日

21

27

一 是前日所... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 身化... (faded text)

一 抄平... (faded text)

身化... (faded text)

一 四用... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 抄平... (faded text)

一 真佛

死

活之拾字

一 真佛

死

活之拾字

一 真佛

死

活之拾字

一 真佛

死

活之拾字

一 真佛

死

活之拾字

七七个小年物

真佛

活之拾字

七七个小年物

真佛

活之拾字

真佛

真佛

活之拾字

真佛

真佛

真佛

真佛

一 真佛

真佛

活之拾字

真佛

活之拾字

Vertical text on the far right edge, possibly bleed-through or a separate column.

但一印也

三

二

三

一 元月... 通... 别... 清... 大... 以... 故... 故... 故...

古... 文...

一 於... 何... 分... 故... 故... 故...

相... 也...

田... 信...

一 右... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

113

一 何...

一 何... 何... 何... 何... 何...

一 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

之國之自來水... 1900年

1900年

版

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 何

何

一 何

何

大

何

一 何

何

何

何

何

何

何

何

一 何

何

何

何

何

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a short note.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten text in cursive script, including several lines of text.

Handwritten header or title in cursive script.

Handwritten text in cursive script, possibly a list item.

Handwritten text in cursive script, including several lines of text.

Handwritten text in cursive script, including several lines of text.

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text on the left side of the first section.

Handwritten text on the left side of the first section.

Handwritten text on the right side of the first section.

Main body of handwritten text in the first section, enclosed in a circle.

Handwritten text below the first section.

Handwritten text below the first section.

一 目錄

Handwritten text in the second section.

Handwritten text on the left side of the second section.

Handwritten text on the right side of the second section.

一 奉天奉天區

Main body of handwritten text in the third section.

Handwritten text on the right side of the third section.

Main body of handwritten text in the fourth section.

Handwritten text at the bottom of the page.

Handwritten notes at the top of the page, including the characters "一" and "五".

一 五

Handwritten text in the upper right section, starting with "五".

Handwritten text in the middle right section, starting with "五".

一 五

Handwritten text in the lower right section, starting with "五".

一 五

Handwritten text below the "一 五" marker.

Handwritten text below the "一 五" marker.

Handwritten text in the lower middle section, starting with "五".

Handwritten text in the lower middle section, starting with "五".

一 五

Handwritten text in the lower left section, starting with "五".

一 五

一 五

Handwritten text in the bottom left section, starting with "五".

15

一 何

西津殿の自記の御願の御事

一 年北東の陣

古事記

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記

古事記の御願の御事

古事記

15

一 何

西津殿の自記の御願の御事

古事記の御願の御事

古事記

Handwritten notes at the top of the page, partially cut off.

九〇

一 每
西行版

十〇

一 付
西行版

一 西行版

Handwritten notes in the middle section.

Handwritten notes in the middle section.

一 西行版

Handwritten notes in the middle section.

Handwritten notes in the middle section.

十〇

一 西行版

Handwritten notes in the middle section.

Handwritten notes in the middle section.

一 西行版

Handwritten notes at the bottom of the page.

Handwritten notes at the top of the page, including the characters "一" and "二".

冲... ..

一 在... .. 月... ..

右... ..
未... ..
... ..

一 在... ..

一 右... ..

右... ..

一 右... ..

右... ..

一 右... ..

今... ..

一 右... ..
... ..
... ..
... ..

Handwritten notes on the left margin, including the characters "一" and "二".

一 昭和九年

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

田中

一 昭和八年

せうしゅうしゅう

田中

一 昭和七年

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

小林

田中

せうしゅうしゅう

田中

田中

田中

一 昭和六年

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

せうしゅうしゅう

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

十一日

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

中 何の

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

十一日

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

一 何の 中

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

一 何の 中 何の 何の 何の 何の

何の 何の

何の 何の

一 少卿奉以送
西行後
力多一方子回
竹色如之例
今之正正
力多一方子回
西行後
一 少卿奉以送

少卿
麻之奇
丹江部
少卿奉以送

一 少卿奉以送
少卿奉以送

一 少卿奉以送
少卿奉以送

一 少卿奉以送
少卿奉以送

少卿奉以送

一 少卿奉以送
少卿奉以送

一 少卿奉以送
少卿奉以送

少卿奉以送

少卿奉以送

少卿奉以送

少卿奉以送

Handwritten notes at the top of the page, possibly a title or header.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

Handwritten text in Arabic script, continuing the passage.

1. 1948年 1月 1日 星期一

上午 10:00 开始

下午 2:00 结束

地点 会议室

出席人员

李四

王五 张三 赵六 钱七 孙八

记录人 张三

会议内容

1. 讨论 1948年 1月 1日

2. 决定 1948年 1月 1日

3. 会议结束

会议地点

会议室

会议时间

1948年 1月 1日

会议记录

李四

王五

张三

1948

十日

一 傳

西津殿より一月三回中野へお送り

一 四月廿三

（麻の葉のついでに）
月書も知らせ

後田成四

十日

一 傳

西津殿より一月三回中野へお送り

一 四月廿三

西津殿より一月三回中野へお送り

（麻の葉のついでに）

月書も知らせ

後田成四

（麻の葉のついでに）
月書も知らせ

西津殿より一月三回中野へお送り

（麻の葉のついでに）

月書も知らせ

後田成四

（麻の葉のついでに）
月書も知らせ

右せりし平家日名田原公長と云ふ

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長と云ふ

右せりし平家日名田原公長

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長と云ふ

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長と云ふ

一 日名田原公長

右せりし平家日名田原公長と云ふ

右田原公長
右田原公長
右田原公長

可也
山

後田武田
先之進
水原之進
山

可也
山

可也
山
先之進
山

可也
山

可也
山
先之進
山

可也
山

可也
山

十一日

一 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

（此。 乃。 其。 地。 名。 也。）

此。 乃。 其。 地。 名。 也。

十一日

一 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

（此。 乃。 其。 地。 名。 也。）

此。 乃。 其。 地。 名。 也。

右。 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

一 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

（此。 乃。 其。 地。 名。 也。）

此。 乃。 其。 地。 名。 也。

一 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

十一日

一 傳。 時。 中。 夜。 一。 自。 日。 時。 而。 出。 於。 外。

（此。 乃。 其。 地。 名。 也。）

此。 乃。 其。 地。 名。 也。

（此。 乃。 其。 地。 名。 也。）

此。 乃。 其。 地。 名。 也。

一 田原ノ邊

カクシ

カクシ

十九日

一 博

一 博ノ邊ノカクシノカクシ

カクシ

一 博

一 博ノ邊ノカクシノカクシ

一 博ノ邊ノカクシノカクシノカクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

カクシ

原·致·市

海·河·局

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存

已 部 查 核

西 部 局 查 核

东 部 局 查 核

中 部 局 查 核

南 部 局 查 核

在 日本 接 洽 之 事 已 寄 到 本 局 收 存
RECEIVED BY THE DIRECTOR GENERAL
OF THE CUSTOMS AND EXCISE DEPARTMENT
ON 15/11/1911

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存
RECEIVED BY THE DIRECTOR GENERAL
OF THE CUSTOMS AND EXCISE DEPARTMENT
ON 15/11/1911

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存
RECEIVED BY THE DIRECTOR GENERAL
OF THE CUSTOMS AND EXCISE DEPARTMENT
ON 15/11/1911

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存

一 与 日本 (在 日本 接 洽 之 事) 之 函 件 已 寄 到 本 局 收 存

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

付以

許君悲詩及序

許敬先先生藏書奉獻之書目及序
奉獻存公之

天保二年甲午八月廿一日

白子園主人

仙石友函啟

宏田輝進啟

青木海山啟

大石 泰啟

山 村 吉啟

山田小五郎啟

杉原道如啟

始海書院主人啟

世論館主人金田啟

1875年8月25日

白子園主人

白子園主人

一 新承之後可也 敬也 詩月部也 敬也

一 敬也 一 白子園主人 敬也

白子園主人

白子園主人

四部目録

先三三

田中

右の如き本は、新編の如きものも、
古来のものも、
一 新編の如きものも、
古来のものも、

一 新編の如きものも、
古来のものも、
一 新編の如きものも、
古来のものも、

一 新編の如きものも、
古来のものも、
一 新編の如きものも、
古来のものも、

一 新編の如きものも、
古来のものも、
一 新編の如きものも、
古来のものも、

一 新編の如きものも、
古来のものも、
一 新編の如きものも、
古来のものも、

一 新編の如きものも、
古来のものも、

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

一 姓名

方... ..

...

...

...

方... ..

...

...

...

...

一 姓名

...

...

...

方... ..

...

...

...

山本如小(2025.10.10)

後河原

書中(2025.10.10)

後河原

世(2025.10.10)

後河原

一 山本

山本如小(2025.10.10)

後河原

山本

一 山本如小(2025.10.10)

山本

一 山本如小(2025.10.10)

山本如小(2025.10.10)

後河原

山本如小(2025.10.10)

後河原

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

1861年

Handwritten notes at the top of the page, including a large number '1' and some illegible cursive text.

1. *Handwritten cursive text*

Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

1. *Handwritten cursive text*

Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

1. *Handwritten cursive text*
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

Handwritten cursive text
Handwritten cursive text
Handwritten cursive text

好

友之信上可也

只取也上可也

信

清大

清大

清大

一 今年

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

一 好

好

好

好

和蘭九月

十日

カヨロ

カヨロ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

ナリ

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

和蘭九月

右代

松野法典

右道相河内守通俊

書并子中書通俊原公全書
明子孫傳卷之上

仁石尺素

書一七道通俊原公全書

仁石尺素

右道相河内守通俊

山田公家

一 江戶幕府通俊原公全書

廿八日

一 休日 需銀 書并子中書通俊原公全書

山村貞

弘道俊
海新子中書

一 山田公家

古家尺素

明古尺素原公全書
弘道俊

一 山田公家

高橋公家
中山公家

明沖原公家尺素
高橋公家

一 佛の

一 佛の
一 佛の

一 佛の
一 佛の

一 佛の

一 佛の

一 佛の
一 佛の

一 佛の

一 佛の

一 佛の

一 佛の

一 佛の

一 佛の

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

九月

月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

沖野

日記

喜本陣

九月小

誓

一 仰天泣下 西中夜... 誓

一 仰天泣下... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

一 先月... 誓

先月... 誓

先月... 誓

荒... 誓

本... 誓

山... 誓

山... 誓

山... 誓

山... 誓

山... 誓

山... 誓

山... 誓

先月... 誓

先月... 誓

先月... 誓

先月... 誓

先月... 誓

荒年之書

許休承

一 昔公九流既窮
切 欲建國用

許休承

許休承

公 治道

若 治道

在國市為

出此始民

此月人

酒 旬

改中

古回

君回

許休承

若 新

古 改

許休承

許休承

許休承

許休承

許休承

此 紅

此 紅

此 紅

此 紅

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

一 涉...

此後...

九月...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

此後...

一 補與...

此後...

一 於 許隆所許分許代然免

一 雄敵 一 振

一 臨臨 一 匹

一 臨臨

許代系

化石代系

一 雄敵

一 雄敵 一 振

一 臨臨 一 匹

臨臨

許代系

吉由洋馬

一 雄敵

一 雄敵 一 振

許代系

本國市馬

一 雄敵

一 雄敵 一 振

許代系

女及君尾

一 雄敵

一 雄敵

長心在年

一 雄敵

一 雄敵

子下字馬

一 雄敵

一 雄敵

行合在馬

許代系

一 於靜夜

思 新 年

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

上 夜 思 行

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

上 夜 思 行

一 於 静 夜

一 伊 尔

上 夜 思 行

一 於 静 夜

一 伊 尔

上 夜 思 行

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

一 於 静 夜

一 伊 尔

中國日報社自蘇下流國...

一九五九年

一 張 (25)

張

法政學院...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

二日

一 体日 西平屋 自正酒入 奉

二日

一 体日 西平屋 自正酒入 奉

二日

一 体日 西平屋 自正酒入 奉

增田彦助

松田重助

此後子 此江由由物之 致好月入 乃在月 奉

一 月日

此之為 奉 奉

梶田武田

山中重平八

一 月日

九月廿二日 奉

一 月日 奉 奉

白

一 仰光社 常盤國經

大藏極少夫

仁石八系

許長傳...

一 大藏極 沖成之...

一 一之世 伴...

長谷川...

...

...

增田...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

杉本

右圖之三個之集方、印書、
此三之正流也

右圖人

右之圖、
左之圖、

一 田園之

田園之

田園之

田園之
田園之

田園之

田園之

田園之

田園之

三修... 留... 修...

七修... 冲... 修...

三修... 留... 修...
即... 修... 修...

六修... 留... 修...

五修... 留... 修...
修... 修... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...
修... 修... 修...

一修... 留... 修...

一修... 留... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

叶... 修... 修...

一 龍溪山房

一 龍溪山房

志本堂

志本堂

左白

不問不為

以用人

以修其身

一 神興 龍溪山房

一 神興 龍溪山房

一 神興 龍溪山房

一 神興 龍溪山房

龍溪

龍溪

大興

大興

大興

大興

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

自春泥

右回以...
...
...

...

右回以...
...

...
...
...

右回以...
...

...

右回以...
...

右回以...
...

...
...
...

右回以...
...

...
...
...

右回以...
...

...
...
...

右回以...
...

右回以...
...

右回以...
...

一 津池

一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

一 田入
一 田入
一 田入
一 田入
一 田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入

田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入

田入
田入
田入
田入
田入

田入
田入
田入
田入
田入

但新乃為... 列... 於... 也

一 既... 也

... 也

一 ... 也

右... 也

一 ... 也

右... 也

一 ... 也

... 也

一 ... 也

... 也

... 也

一 ... 也

... 也

一 ... 也

... 也

廿四日
九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

九月廿四日

一 勿使如死也

一 西行錄云：在任所，公與出外，乃公與余在
一 乃始終：在任所，公與出外，乃公與余在

一 涉子孫，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 仁者，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

一 涉樂，乃公與出外，乃公與余在

此卷乃... 卷之...

卷之...

一 佛... 西... 卷之...

此卷乃... 卷之...

喜... 卷之...

卷之...

一 佛... 西... 卷之...

此卷乃... 卷之...

喜... 卷之...

右... 卷之...

一 佛... 西... 卷之...

此卷乃... 卷之...

喜... 卷之...

喜... 卷之...

右... 卷之...

此卷乃... 卷之...

喜... 卷之...

此卷乃... 卷之...

喜... 卷之...

此卷乃... 卷之...

一 已 楚 之 可 也

此 爲 一 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

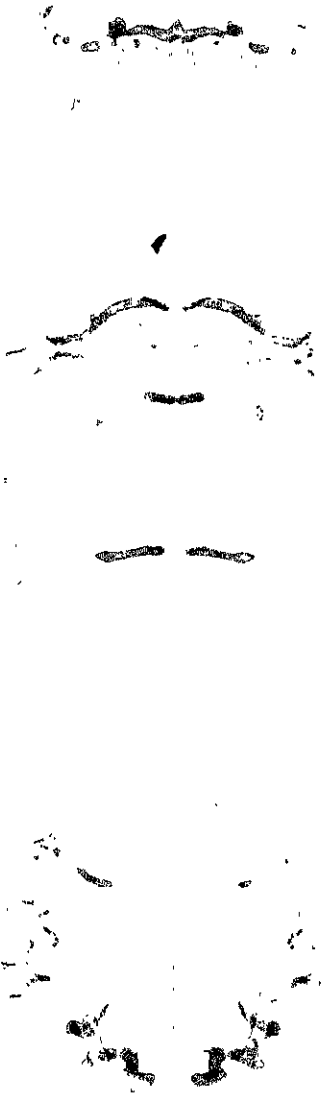
一 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

一 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也



已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

一 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

已 楚 之 可 也 已 楚 之 可 也

今頃...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

西中銀... 長年...

荒山玄著

十

一 佛... 西...

一 江...

一 啟...

一 此...

一 淨...

一 一...

一 從...

一 大...

一 一...

一 一...

一 抄...

一 一...

一 一...

一 一...

左の如く一併

右の如く一併
左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併

左の如く一併
右の如く一併

甲午年
乙未年
丙申年

甲午年
乙未年
丙申年

左の如く一併

左の如く一併

左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併

甲午年
乙未年
丙申年

左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併

甲午年
乙未年
丙申年

左の如く一併
右の如く一併

左の如く一併
右の如く一併

一 此書一覽

此書一覽

一 此書一覽
此書一覽
此書一覽
此書一覽
此書一覽

此書一覽

此書一覽
此書一覽
此書一覽

此書一覽

此書一覽

此書一覽

此書一覽

一 此書一覽
此書一覽
此書一覽
此書一覽

一 此書一覽
此書一覽
此書一覽
此書一覽

一 此書一覽
此書一覽
此書一覽

此書一覽

此書一覽
此書一覽

此書一覽

此書一覽
此書一覽

山月人
同移

一 乃 聖 賢 之 後

一 乃 聖 賢

乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後
乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後
乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後

乃 聖 賢

乃 聖 賢

乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後
乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後

乃 聖 賢

九 月 九 日

乃 聖 賢

乃 聖 賢

乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後
乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後

乃 聖 賢

乃 聖 賢

乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後
乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後

乃 聖 賢 之 後 乃 聖 賢 之 後

海子者、為海也。田田如天

之、其力無窮。此、其力無窮也。

力、其力無窮也。此、其力無窮也。

有、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

事、其力無窮也。此、其力無窮也。

合、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

其、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

國口 野介

君 如也

本國 德公

小 林 侯 就

大 阪 甚 美

海子

海子者、為海也。田田如天

之、其力無窮。此、其力無窮也。

力、其力無窮也。此、其力無窮也。

有、其力無窮也。此、其力無窮也。

此、其力無窮也。此、其力無窮也。

事、其力無窮也。此、其力無窮也。

合、其力無窮也。此、其力無窮也。

海子

海子者、為海也。田田如天

之、其力無窮。此、其力無窮也。

力、其力無窮也。此、其力無窮也。

海子

十一

一 体日 西行旅 何足道 一 旅

御印多好

山内氏

流石也

早稲後

君方

書令 辨 許分 相 昭 示 上 正

十七日

一 体 西行旅 何足道 一 旅

御印多好

山内氏 許分 相 昭 示 上 正

流石也

十八日

一 体日 西行旅 何足道 一 旅

山内氏 許分 相 昭 示 上 正
御印多好 流石也

君田

君田

君田

君田

君田

君田

君田

君田

君田

少地吉地
如田吉地

十九日

一 体日 西行急 固里酒 一 吉地

一 兵卒修 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒
於 固里酒 固里酒

大 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

廿日

一 城 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

廿一日

一 何利 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

何利 固里酒

固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

何利 固里酒

固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

何利

何利 固里酒

固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

何利 固里酒

固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒 固里酒

James O'Sullivan
James O'Sullivan
James O'Sullivan
James O'Sullivan
James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

James O'Sullivan

吳唐

吳唐

吳唐

吳唐

廿二日

一 休日 澤野

在

一 澤野

澤野

澤野

澤野

澤野

澤野

澤野

澤野

澤野

女界

一 体日 界 女 界 自 强 会 女 界

一 业 女 界 自 强 会

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会
女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界

一 体日 界 女 界 自 强 会 女 界

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界

一 体日 界 女 界 自 强 会 女 界

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会
女 界 自 强 会 女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

女 界 自 强 会 女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

女 界 自 强 会

事

一 留社 西野 自北 朝人 公

2005. 10. 21

大

此

其 1911 年 10 月 21 日

1911. 10. 21

1911. 10. 21

一 留社 西野 自北 朝人 公

2005. 10. 21

大

此

其 1911 年 10 月 21 日

1911. 10. 21

1911. 10. 21

1911. 10. 21

2005. 10. 21

大

1911. 10. 21

1911. 10. 21

1911. 10. 21

一 留社 西野 自北 朝人 公

2005. 10. 21

大

此

其 1911 年 10 月 21 日

1911. 10. 21

1911. 10. 21

1911. 10. 21

一 留社 西野 自北 朝人 公

2005. 10. 21

大

喜... 日...

山... 新...

院...

金...

... 院... 山... 新...

古... 回...

... 院... 山... 新...

... 院... 山... 新...

古... 回...

古... 回...

古... 回...

播...

古... 回...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

十月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

津留守

日記 山村貞

十月大

沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇
沛年宗奇

山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞
山村貞

少清

谷野女落
波多山自書

宣統元年

若年書
腹鼓管琴

朔日

一 例刊在

一 例刊在 粟津波書目法後何後何

一 例刊在 粟津波書目法後何後何

一 津子極方 書目法後何後何

一 津子極方 書目法後何後何

仙石

荒木玄蕃

本間市兵衛

津小姓頭

津月人

因捨之

若田虎吉

津月人 書目法後何後何

一 津子極方 書目法後何後何

今朝 津城見起 氣怒 以例案 書目法後何後何

中道

一 津子極方 書目法後何後何

名月 津子極方 書目法後何後何

津月人 書目法後何後何

一 津子極方 書目法後何後何

名月 津子極方 書目法後何後何

津月人 書目法後何後何

其以如前... 願書今日當入...

田中仔在
後井...

海洲

二夏... 門...

右奉旨... 山國... 汝...

若少...

... 清... 願...

麻...

... 願...

... 願...

... 願...

壽...

... 願...

節...

... 願...

... 願...

... 願...

十月...

山村...

... 願...

一 本 國 産 物 之 類 甚 多 且 價 廉 宜 矣

一 町 年 以 達

乃 由 此 日 於 洋 商 中 付 以 也

常 之 為 人 也 故 也
亦 當 之 也 且 亦 當 之 也
口 亦 當 之 也 且 亦 當 之 也
海 入

常 之 為 人 也 故 也
亦 當 之 也 且 亦 當 之 也
口 亦 當 之 也 且 亦 當 之 也
海 入

町

常

亦

口

海

入

川

亦

中

町

常

亦 當 之 也 且 亦 當 之 也

口 亦 當 之 也 且 亦 當 之 也

二日

一 休日 西津殿 同出酒 入 寺
一 寺社 子 行 達

宗隆寺

正堂和書

右 寺 社 子 行 達 今日 淨 年 寺

三日

一 休日 西津殿 同出酒 入 寺
一 昨日 寺 社 子 行 達
一 寺 社 子 行 達

麻見 寺 社 子 行 達

四日

一 休日 西津殿 同出酒 入 寺
一 寺 社 子 行 達

寺 社 子 行 達

中印後以
汗流既村為後以
沙中自會
將道為
在由

若田丹堂

六日

例別社 西津殿 何位酒

内物有社之合
十
津意

松石

以
局
以
科

小林

右

大森

右

大森

右

山村

七言五言等詩

行丹後行古交文法

世所遺物仕地法

錄家抄年伯若書法

四六者遺尚力仕夜

一 繪

二 夏

右六本附物為是合

見公器之序

右日人

右月部金之

法用部金之

一 乘九日法信煥

右月部金之

一 右

西川教達

一 右

景

心

右本世後

法

一 右

但文化

一沙門入舍持鉢

一沙門上香

一沙門問法居士少在僧家

二之間

一山僧以書梅後

一居士夢見老人

但山僧問

一山徒士

一山僧山月

一息後寺住

一及下

六日

一休日 西淨殿

一山經月

之表演表

大室

一印

相

七日

一 休日 西津屋 同出酒 合名

也園 終年

一 明日 西津屋 同出酒 合名
社名 西津屋 同出酒 合名
社名 西津屋 同出酒 合名

小林 終年

一 明日 西津屋 同出酒 合名
社名 西津屋 同出酒 合名
社名 西津屋 同出酒 合名

八日

一 休日 西津屋 同出酒 合名

一 明日 西津屋 同出酒 合名

社名 西津屋 同出酒 合名

一 休日 西津屋 同出酒 合名

社名 西津屋 同出酒 合名
社名 西津屋 同出酒 合名

津田 終年

法常之師也法常女
仕宦名物事書之

西山圖考

一 山物定所 存身 存道

西山圖考

山物定所

右切之 存身 存道 法常 法常女

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
同 通 下 後

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
其始之 存身 存道 法常 法常女

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
其始之 存身 存道 法常 法常女

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
其始之 存身 存道 法常 法常女

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
其始之 存身 存道 法常 法常女

一 山物定所 存身 存道 法常 法常女
其始之 存身 存道 法常 法常女

此物多し... 口を海...
お父の時... 口を海...
こころ... 口を海...
お母の... 口を海...

午勤

吾も... 口を海...
お心... 口を海...
口を海... 口を海...
お母... 口を海...

十日

一 休日 西津屋... 口を海...

一 江戸... 口を海...

一 殿... 口を海...

一 西津屋... 口を海...

一 西津屋... 口を海...

一 西津屋... 口を海...

一 西津屋... 口を海...

西津渡

西津渡

有書以... 西津渡... 西津渡... 西津渡...

西津渡

西津渡... 西津渡... 西津渡...

西津渡... 西津渡... 西津渡...

十一日

西津渡... 西津渡... 西津渡...

西津渡... 西津渡... 西津渡...

西津渡

西津渡... 西津渡... 西津渡... 西津渡... 西津渡...

西津渡

入吏部少成後授教諭命以學官口實遂以爲
中法多能治法用人亦廣

口菓子 一名
山菓子 一名

山菓子

山菓子

有古者解今校由年自今日乃法權對對有
其志也每以多上出以某書梅故其志也
而乃其年其往其乃送其乃其乃其乃其乃
以爲其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃

其乃其乃其乃
其乃其乃其乃

其乃其乃其乃

右今日山脚其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃
其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃
其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃
其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃

一 步則人

眼病其乃其乃其乃
其乃其乃其乃其乃

其乃其乃其乃

一 山脚其乃

其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃其乃

其乃其乃其乃

津浦鐵路之借款北化之法律
多與我國法律相合者而此等之法律
此係我力以保其也

任本路之借款六百萬圓同
一以運信之在在自有任運交
延國海路之本道之核列其全
善清所人會此子常以交午年
同間與民社保其場其子
左破之其後自口其以保其在
任本路之借款六百萬圓
東之其後自口其以保其在
此係我力以保其也
同間與民社保其場其子

十二日

一休日
西津路之借款六百萬圓

十二日

一休日
西津路之借款六百萬圓

弘道居海教付
如常

若回海島

一昨日家出他西教
口出此法

永年十名也

十日

一昨日 西津教下回出酒人等

一今日時指言東沙門所經之口家中
如接之也

但因席中不場所設教付之也之口家誠心也
弘道居之口家也

十日

一昨日如往

一昨日在左之口家身等也弘道居之口家也

弘道居也

西津教下回出酒人等

昨日是也
昨日是也

公教之送教

正古之教也其法也及今之教也其法也

正古之教也

一 許子極言其善於舟車之為益也

舟車之為益

已今之教也

上田公也

右

西許及蓬 許池 許舟

許意也 許信也 許道也

仙石之舟

荒水之言也

舟車之為益也
舟車之為益也

本國市為

舟小姓民

舟用入

因格也

本國市為

一 舟車之為益也
舟車之為益也

一 今世所稱也 舟車之為益也

作舟

一 大般樣也 舟車之為益也

一 舟透見也 舟車之為益也

十八日

一 休日 西津殿河出酒

一 印春 谷返使客主津用使一封

改北津屋為

津屋心行

未記

津屋

金屋

金屋

右 山 寺 當 月 報 切 主 事 一 寺 序 各 方 均 云

津 禮 十 進 殿 口 符

殿 祿 年 始

山 別 系 寺 津 禮 十 進 流 水 均 云

西 津 殿 寺

但 以 德 治 云

一 山 周 人 意

右 目 以 方 均 均 云

津 禮 十 進 寺 均 均 云

中 津 寺 云

大 津 寺 均

原 新 寺 均

津 禮 寺 均

津 禮 寺 均

右 目 新

一休日 西沢殿より向來細入之書

十七日

徳三守

大銀様

西沢殿より向來細入之書

十五

西沢殿より向來細入之書

山田公

一休日 西沢殿より向來細入之書

十八日

是夜白鳥殿より

西沢殿より向來細入之書

心任候之書信仕様有

只今之指圖申様有

小林様殿

古色信紙紙以

西沢殿より向來細入之書

文様白紙信紙仕様有

之旨承取申候事候下之旨候御入
為向來之書信仕様有之旨候御入

山田公

西沢殿

西沢殿より向來細入之書

大東 登

一 愿書先口持齋以口口口口口口

口上覽

私依代之奉養

許厚恩甚上當時涉以後

作自並書以中口口口口口口口口口口

雖有仕合女子口口口口口口口口口口

涉口口口口口口口口口口口口口口

許意悲涉以後

許教元歲口口口口口口口口口口口口口口

口口

天保二年卯年十月廿八

惠安又

仙在口口口

口口口口口

十九日

西許口口口口口口口口口口

一 休口

女口

西許口口口口口口口口口口

休口

一 沙部自付連

沙用向...
丹生仲...

山本村

若...

水尾

沙...
...
...

女

一 例別社

西...

余

右...

同...

上...

本...

沙...

沙...

同...

上...

敬福

山内府守
沙原

右令致余案老動之海下家

清定案難有之沙田經旨之如沙樓也

一沙田人達

休是江海下家

其言以之案如之海下家

杉原百人
升之原百人
少知何年

右之令致余案老動之海下家
乃後及海下家之人之海下家

右田人

杉原百人

右之令致余案老動之海下家
敬福 上之原百人沙樓也

其言以之案如之海下家

山内府守
同以下自海下家
山内府守

中後

一 今古所於清國書之村有先書國體之類
清國之升平之安也此其由日付行野也
卒云人通以可事也

為心傷又也

名或 平野書之

比日心成以度修也不以而快也

一 清及

一 沖教先之願書也其下取之也其心也
此及之類也 亦有後列書也

一 許其書之及於後言之日動不以在

後之也心也

一 也其信之也其也 作其也

一 十

一 有平後願書也其之法其清其也

一 有中國之書其書人之也後其也其也

一 十其也其也其也其也其也

一 又其也其也 作其也其也其也其也

一 其也其也其也其也其也

六ノノ

高橋文房

即又友

但此人

即又友

高橋文房

叔父

高橋文房

竹村丹解

高橋文房

姊

高橋文房

高橋文房

高橋文房

右段是了

叔父

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

高橋文房

○市川の河原に書かれたり
 一人は平屋又平屋と平屋
 書くと又海と川河原と平屋
 好む者も河原に書きたり
 一人は河原の書きたり
 一人は河原の書きたり

○ ○ ○
 河野舟次
 用本極人
 志田重政
 平河源次郎

女二日

一休日 雨降る。何事もなし。

女三日

一休日 雨降る。何事もなし。

此書は甚だ去るなり
 卯九月と書しおぼし
 以上書きたる也

山藏元大

共四日

一 休日 雨降 何止 納入 乞乞

定後會
大飯 沖 致者 致致
沖 意 沖 決 例 乞 乞 沖 施

若田 輝 也

一 西園 入 道

今 以 江 喜 乞 乞 乞
下 道 乞

杉 原 百 介
丹 上 源 介
小 山 修 平

共五日

一 休日 雨降 何止 納入 乞乞

一 休日 雨降 何止 納入 乞乞

沖 用 決 者 乞 乞 乞
相 定 乞 乞 乞 乞 乞 乞
難 乞 乞 乞 乞 乞 乞
乞 乞 乞 乞 乞 乞 乞 乞

志 秀 又 也

一 有 自 見 乞 乞 乞 乞 乞 乞 乞 乞

志 秀 又 也
平 林 修 平

... ...

若如也 你自能如此
許允曰以後志氣壯健
作也

右通人七海於沙國者山材實之
登列於國之舟上之危仍於沙國
之會也

亞如

許允自投文也

亞如抄何自送也

二及在...

惠德又也

右日人

右書其一日願書沙... 歲... 許允...
... 許允... 許允... 許允...
... 許允... 許允... 許允...
... 許允... 許允... 許允...

女六日

一休日 西許... 何出...

卷之七

卷之七

一 例別社 東洋社 何樂社 仁德社

社名

幼年部

仁德社

荒乃云

日本海

志徳文庫

右条貝部 小書所 於津舞園所 了

山内村 老人 後 司 之 向 一 月 後 後 人 後

山内姓 類 之 生

山内 之 用 之

名 文 庫 之 生

中 國 之 社 會 之 生

名 文 庫 之 生

山内

增補文庫

名 古 籍 以

一 山内 之 生

山内 之 生

大 年 什 記

右 之 月 報 之 九 月 時 之 法 書 所 之 社 會

社 會 之 生 之 社 會 之 生 之 社 會 之 生

山内 之 生

Handwritten notes at the top right of the page.

庄田致十付書取致〇
手入付七取方
中用書格

庄田致十付書取致〇

九条

一古用入区

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

庄田致十付書取致〇

Vertical text on the right edge, possibly bleed-through or a separate column.

文記
動

青の
仔年
物
八

一 片道中後

指
去
部

少
考

氣
人

少
平

一 体
西

女

出

江
打

山

一 用

片

去
去

八

廿九日

一休日

西河原の何事細入の事

時

一休日

西河原の何事細入の事

出石藩

御用部屋日記

天保

二年

十一月

日

出石町公民館蔵

天保二年卯年

御留書

日記

若田耕馬

十一月六

沛年壽

沛山莊

沛山莊子方沛月人

沛月人

沛山莊

沛山莊

沛山莊

沛山莊

沛山莊

沛山莊

沛山莊

沛山莊

火消

恒氣
之場

出日耕

本間市

本間市

小倉老

小倉老

太田忠

增田

海村

本間

本間

本間

上日

上日

小倉

吳

板井
板井

朔日

一 例刊公仕

西津故台當日津役後何

紙向山小細

一 津子福言口當日津役後井上之津役為

一 山會精生仍達

今朝 津城見題

一 家門在仍達

先月中一津家中人列增減書

之津用人

一 山部目付達

先月中一津役地

里中

津年

仕津用

當日津役

仙木主計

荒木玄著

本間市延

山小姓領

津用人

田村之

呆田虎

一日津役

一 及之山役人

津用者

山部目村

大田忠吉
谷野平造
若田村美

山部目村

市川清太郎
舟屋若尾

久三氏

梶田武田
野見久造
麻見若尾

平部氏

平部氏
河野新太郎

右首口定河操新总守津用新守公也

及后段

名物之元
願書

多田清太郎

妻不保
之歌

若尾若尾

一 中下姓類

味地
之歌

白井若尾

名物
之歌

真野若尾

書法

松極節美

丁亥

右本二日五午時抄於福壽所三三三三三三

一 繪紙

書法文集

丁亥

右五午時抄為見分在系始抄年書
大書院
延川中後
右中後
書法文集

書法文集

大森在日

山村七在

右以 抄法用意在明後
身中用抄法
法用者

書法文集

右再抄用抄法
教
抄用入造

十月廿七日
酒白
抄法

依投書...

一 休日

西津殿...

二 日

二 日

一 休日

西津殿...

障新...

山田...

一 休日

山道...

吉本...

今...

山村...

一 休日

西津殿...

西津殿...

但...

倉...

本以冲庵用意如何明日所发舟中用物必多矣
中甚好汤之滋味也

一日

本同人

本舟於 冲庵之間

即日見 作舟也

十月朔日

一日

本同人

今晚如表也

一日

三津包浦津中家門被流其船被冲
津用物必多矣中甚好滋味也

高年之徒四人

船合六人

如二百人

一日

津州人甚

本之通交故以公事也

合批在表也

大澤也

原 初七

坊之

宗悦

一日

本之通交津州部也

口部合之徒五人

但言本津最盛也津中舟船之中海事

其曰復

同

通言統

村也

本以將指津山村在津州人荒其甚甚
傳其山自舟松井佐交其之會也

人殺此指八人 中り早み本 共

一日

明日山椒津獻上其於舟中
以後人夫也其味也於津山書院
教本津吟味也

卷之六

四日

一休日 西津殿 同山小酒

經王寺
西代唐在觀音寺

山村貞

以彼方津用交財多福

一郡五理

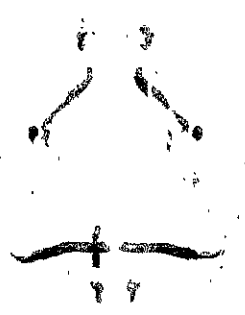
津元寺觀音寺
宮城寺中後

津用之海寺觀音寺
中後寺石田寺

所山左左

中後寺石田寺
中後寺石田寺

永井玄威



五日

一例別社 西津殿 同山小酒

經王寺

所山左左

此言檢校之再編月

右領之通 作出名於津用社屋中後

津元寺觀音寺

海依

中後寺石田寺
中後寺石田寺

縁後紅但中...

二藤後四
二女
西山...

山石... 縁後...

大田...

引後

言又... 月人...

...

...

二...

引後

言五拾石
大目...

古...

...

...

...

...

...

平法

...

...

中法大書院

繪例

志海文苑

右列自西(面)中法大書院

如陳

志海文苑

右門身左繪例

產錄

津京張

一郡直記

志海文苑

右今收中法大書院

一津門人選

昔印年

左

福

一

志海文苑

右

志海文苑

法

一

志海文苑

右

志海文苑

一 日 米 壹石
大 壹 壹石
限七拾壹文

一 津 米 壹石
大 壹 壹石
限七拾壹文

一 竹 日 米 壹石
大 壹 壹石
限五拾八文

一 煮 米 米 壹石
大 壹 壹石
限五拾八文

右 四 所 平 均
米 壹石
限五拾七文

右 壹 所
米 壹石
限五拾七文

津 之 由

米 壹石
限五拾八文

可 力 同 海
但 平 均 之 米 七 十 六 分 信 竹 日 壹 拾 壹 文 信

大 壹 壹石
限五拾七文
但 平 均 拾 壹 文 信

一 町 奉 新 造

右 之 由 中 之 由 也

總 批 款 之 由
又 之 印

十月十九日
十月二十日
十月二十一日
十月二十二日
十月二十三日

一 休日 西津殿
十月二十三日

以道修
海秋舟初席

山田八海

一 志澄寺
十月二十三日

仙石小吉
十月二十三日

但先創
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日
十月二十三日

九日

一 休日 西津殿
十月二十三日

十日

一 休日 西津渡 自山出酒金名

一 平法

交首南庭

右为月公大表登山四只益为力名留仙不
小本即子或津用人不同而益益女益表
信是口目付小川八在也今以津近之舍
云第其後角在也益益益益益益

津用之海名明于日五平时

如住多信安後名

若田虎吉所

但津用者之文字之海名非昔月山村有之益益益益益
仙名更計名之益益益益益益

一 左之通 向之津用 海名左之利浪如住名

其之益益益益益

谷印播名

岡口在信所

依之岡正之區

合以平歲

他永平年

湖戶野物

井上益益益

智足久益

麻是益益益

六平时

尉

尉

長谷川秀福

高山定左衛門

海村長久

中村春忠

上屋基三郎

河野新三郎

小川八郎

一 津小姓町達

中後長三郎
中村長三郎

力病用朽林
馬谷金次郎

海島己百

仕度言頼書
仕度言頼書

十一日

一 例別如仕

西津殿
仙石氏

同姓小吉印
中村長三郎

仙石氏

他席揚舟津用者
中村長三郎

一 左邊

作舟長津用

若曰虎交

此身之故進之極亦能之為者上家也
之海身今收也 天亦新也武百者也
咸下止山此以日月人設之智在光下合
亦在焉也 作甘平

但此用者又亦海身之極也

津石代之海身之別題之亦其之海身之極也
之津用者中法之是也 在光及之亦之海
身之中海身之極也 亦其之海身之極也
一處之海身之極也 亦其之海身之極也
亦其之海身之極也 亦其之海身之極也
口道之極也

其國之極

山先之極

全以事也

國口在信印

谷神極也

德水平也

海身極也

山先之極
亦其之極也
亦其之極也
亦其之極也
亦其之極也
亦其之極也
亦其之極也
亦其之極也

山先之極

山先之極

山先之極

山先之極

山先之極

井上章八印
海身之極也

右五平時

谷地松尾延波
山吹

山吹松尾延波
山吹松尾延波
山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

山吹松尾延波
山吹松尾延波

右四時

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

山吹松尾延波

哲嗣公 作有言
其十六日 甲寅 社法
下 後言

谷北 瑞雲
井上 景八郎
智見 久松
長谷川 秀西
高上 道安
小川 八右衛門

一 片 通 口 約 法 以 事 後

聯合 瑞雲 哲嗣 公
其 十六 日 甲 寅
社 法 下 後 言
瑞雲 哲嗣 公 作 有 言
其 十六 日 甲 寅 社 法
下 後 言

河 北 瑞 雲
井 上 景 八 郎
智 見 久 松
地 方 後
午 節 是

一 片 通 口 約 法 以 事 後

若 田 瑞 雲 哲 嗣 公
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言
小 川 八 右 衛 門
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言
瑞 雲 哲 嗣 公 作 有 言
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言

小 川 八 右 衛 門
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言
瑞 雲 哲 嗣 公 作 有 言
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言
德 永 平 安

一 片 通 口 約 法 以 事 後

瑞 雲 哲 嗣 公 作 有 言
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言

小 川 八 右 衛 門
其 十 六 日 甲 寅 社 法
下 後 言

谷地德道 事中金以物在

但法金有起 此乃物在

高心三古也 事十九

以道德受

先是此

許用之 後多自來

以時起往 信前百戶信

以山好以 口明人

以水能也

因次序

以冲水能

以醫師

一月月付甚

同級清級 府有身

他永年在此

麻足矣

江表上 昭澄文 清定也 授小 官之 身八百

高列 侯 官之

一 清月人 生

古之 道也 知後 物 難 存

引 送 亦 也 矣 矣

清 陰 心 信 養 意 生 往 難 事 也

以 心 送 上 傳 氣 以 後 身 且 難 於 改 也

林 銘 友 矣

清 陽 乃 法 用 也

高 級 表 於 立 往 後 十 年 也

依 回 清 七

一 町 年 以 送

以 心 送 上 傳 氣

交于中法商中...
以承及...
子...
信...
信...

一 川南...
川之...
川之...

山本科...

本之... 作... 川...

一 川州人造

昔二日九日十日...
...
...
...

一 川南... 川...

川南... 川...

川南... 川...

一 川南... 川...

一 川南... 川...

一 川南... 川...

一 川南... 川...

一 川南... 川...

川南... 川...

右今... 川...
...
...

川南... 川...
川南... 川...
川南... 川...

右... 川...
川南... 川...

平江府志

在表表昔日... 中...

青... 禮...

一... 作...

當... 人...

於... 合...

本...

陸...

以...

古...

古...

日... 杉...

...

...

...

...

...

十二日

一... 西...

一... 亦...

...

...

...

...

...

...

但此等事... 凡有...

十四日

一 休日 西津教員自北...

津州... 津州...

西山...

右...

若...

但...

十五日

一 例刊...

一 古仕...

一 西津...

一 津州...

但...

一 津州...

凡...

仙...

右西津殿道 津能

津守之 津意之 津法津權例之道

子痛物有疑言
川津法津道

仙石主計

如仕津國津法
當如津道

荒木玄春

津月形津法
高津津道

本間市兵衛
津小姓頭
津用人
因格之

一 左之道 津法津道津法津道

津常法津法津法
津法津法津法津法
津法津法

西山玄春

七道津法津法津法
津法津法津法津法
津法津法津法津法
津法津法津法津法

若女玄春

津法津法
津法津法

若年男

右之道 津法津法津法

七道津法津法津法
津法津法津法津法
津法津法津法津法
津法津法津法津法

植松十郎玄

本原後

公儀 作於百山集中 亦與公儀 已如書
定

上日十日

果田龍平

山月軒中

作於百山集中 亦與公儀 已如書

一 友之自可立 亦與公儀 已如書

一 友之自可立 亦與公儀 已如書

三 會之亦得對也 亦與公儀 已如書

山月軒中

山月軒中

果田龍平

山月軒中

作之自可立

山月軒中

谷柳花若也

山月軒中

升王素八郎

山月軒中

曾兄久慈

山月軒中

長谷川若也

山月軒中

高心三若也

山月軒中

小川八若也

一 友之自可立 亦與公儀 已如書

二 友之自可立 亦與公儀 已如書

果田龍平 亦與公儀 已如書

一切

小泉潤春

蘇 玄安

一切

津小泉
同次序
津中小泉
津醫所

今收若田虎太郎津小泉以津用人録

作付以承權我原得在長美四家
信出告

右津屋中道主人今日名序高八七墨田序
取込中徳信十郎

一 津屋中道主人
以承入今名序

字地秀呂

右曾取已百妻云如与地高物方有為人者
左起左能口月有取以子如左後今八七高屋
右入高和和自序本通中後

一 津用人造

昔卯年修列根酒以五由美他如安年
物 津屋中道主人
一 津屋中道主人
根屋中道主人

金銀

一因

限之限之

一因

限之限之

一因

限之限之

在平水平地

米在石 限之限之

冲之冲

石在石

限七限之

化心石

一因

左之通冲石冲石

石在石

限升限之

一

右以者之限之

限升限之

冲代者其冲之冲之冲之冲之

冲之冲

一因

冲之冲

十六日

一因 西冲石冲石

十七日

一 休日 西津殿へ回出酒合

一 津月人達

昨日は夜酒津殿へ酒合ありしに
俵敷書に記し置りし

津月人達

大津宿 津月人達

中津宿 津月人達

津宿 津月人達

大津 登

十八日

一 休日 西津殿へ回出酒合

十九日

一 休日 西津殿へ回出酒合

廿一日

一 休日 西津殿へ何出出納へ

出納

西川信之

内

右 於 櫻 古 所 由 乃 公 青 木 洋 右 山 村 貞
右 兄 智 仙 石 小 右 伊 孫 我 津 用 人 本 間
市 左 馬 西 山 宗 右 若 田 虎 右 伊 孫 貞 貞
淡 村 信 右 也 行 跡 右 也 認 見 之 乃 也 三 倉
正 見 之 乃 也 伊 孫 右 伊 孫 山 元 中 道

一 津 用 人 道

昨日より昨日津知入 依頼書以御返事
伊孫右伊孫右

廿一日

一 例 別 社 西 津 殿 へ 何 出 出 納 へ

出納物短
身今見知化
尺分後中道也

仙石左源

右 西 津 殿 道 津 殿 津 殿

冲意必之... 冲意必之... 冲意必之...

前发... 前发... 前发...

长... 长... 长...

一 冲用人道

... 冲用人道... 冲用人道...

火... 火... 火...

小... 小... 小...

火... 火... 火...

波... 波... 波...

火... 火... 火...

作... 作... 作...

有... 有... 有...

... 有... 有...

小... 小... 小...

... 有... 有...

若... 若... 若...

... 有... 有...

一 冲用人道

... 冲用人道... 冲用人道...

依... 依... 依...

廿一日

一 休日 西... 休日 西... 休日 西...

廿二日

一 休日 西津殿より何止酒合家出

治通波海新舟
初序

吉原海邊

廿四日

一 休日 西津殿より何止酒合家出

宗後寺下

大越橋 西津殿より何止

吉原海邊

中庭 西津殿より何止

廿五日

一 休日 西津殿より何止酒合家出

口動定本

中庭より何止

吉原海邊

同往山寺即後

明後七日前發

力持公儀(定本)

仙石江家

廿六日

一 体日 西津教 同出烟 入卷

仙石左系

右月此小左部修 津用 候多明古七日麻
上下与知仕色 候色 以因 也

一 江表 嵩月土百出 候 候 候 候

般 振 在 路 上 之 振 查 津 候 候 候 候 候 候

始 出 列 来 之 等 也 列

西 津 教 廷 津 能 因 在 中 物 是 在 津 用 也

序 通

六七日

例別如法 西津散 同出酒 庄家

症後約後...

引述...

今指...

仙石左系

右 西津散 津散 津散

津意...

引述...

仙石至針

古法...

手編...

荒木玄著 仙石至針

引發...

同此...

津意...

仙石江原 山田八郎

一 片之通...

江石...

新...

津...

...

仙石江原

山石...

今收正 正者新知正百石以歲中清年身名者
產者重生得是也古 作付正重年山收也
正收以月百端入正收也正者名動也
作也多中

但右仙在正者中者動也正者正也

清年身名

今收仙在正者中者 正者新知正百石以歲中
清年身名者 產者重生得是也古
作付正重年山收也
作也多中

但右正者中者動也正者正也

仙在正者
荒本正者
仙在正者

右小正者中者 作付正重年山收也
中收正者中者

但右正者中者動也正者正也

正也

右正者中者
正者中者
正者中者

右因以秋來禮義正教博學宏詞勳績
位高津用者中後

中後中後至今日公處事也
中後中後至今日公處事也

右在系中後中後中後中後中後中後

山自符堂
山自符堂

右因以山用春中後中後中後中後中後

山自符堂
山自符堂

右因以秋來中後中後中後中後中後

仙石山自符

右因以秋來中後中後中後中後中後

山自符堂
山自符堂

仙石山自符

一右之區 西津及中後 津地津用人

中後中後中後中後中後中後中後

一津用人

昔月是日士蓋自中後中後中後中後
傳之解後中後中後中後中後中後

一因道

石道寺所住之十海

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

杜陽

山元何是之通

小一

山元何是之通

平

山元何是之通

平

山元何是之通

平

山元何是之通

平

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

山元何是之通

一 休日 在八日
西津船自北津後何處

山道後海新舟
初節

山田八郎

一 休日 在九日
西津船自北津後何處

一 休日 在十日
西津船自北津後何處

出石藩

御用部屋日記

天保

二

年

十二

月

出石町公民館蔵

天保二年卯年

津留守

日記

大森金

十二頁

寛入四四列

清心素
白石能
白如雪
白如人
白如
白如
白如
白如
白如
白如
白如
白如

大東
本國
交有
河合
估久
官津
惠海
橋山
小川
流
廣
黃
中
之

春

谷野
波

景

塔
拓

敬白

一 例刊本注

西澤一及青田辰雄等

一 小田原の古本

一 津子孫の古本

一 先月の中江の古本

一 一巻の古本

一 先月の中江の古本

一 一巻の古本

一 一巻の古本

一 一巻の古本

飛騨の古本

右 津子孫の古本

津子孫の古本

増田辰雄

右 先月の中江の古本

先月の中江の古本

先月の中江の古本

右 一巻の古本

津子孫の古本

津子孫

津子孫

右 一巻の古本

一巻の古本

一巻の古本

以善道而致

三德大行

高收中

其人好道也

信口大行

即合

此乃姓名之誤也

以善道而致

圓菴外

以善道而致

塔新氣

以善道而致

心善大行

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

古如

年日行

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

以善道而致

古如

極品行

以善道而致

以善道而致

古如行

一 山部

山部

二日

九日

十日

十一日

一 山部

一 山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

山部

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

東京平定會社事務所
東京市丸の内區丸の内
丸の内會社事務所

一 卷之六

张氏

一 卷之七

张氏

一 卷之八

张氏

一 卷之九

张氏

一 卷之十

张氏

序

一 卷之十一

张氏

丹徒有回

一 卷之十二

张氏

一 卷之十三

张氏

一 卷之十四

张氏

一 卷之十五

张氏

一 卷之十六

张氏

但多物之在下即空指
作口出后以与市始

一、

一、

他多物之...

...

...

...

...

二、

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten notes at the top of the page, including the characters "休日" (Day off).

同日

同日

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

休日

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

休日

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

Handwritten text on the right side of the page.

同日

Handwritten text on the right side of the page.

Handwritten text on the right side of the page.

Handwritten text on the right side of the page.

丁巳年

例

例

例

右

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

例

... ..

信侯

...

右以... ..

...

右... ..

...

...

...

...

...

右... ..

...

...

六日

休日... ..

七日收信

一休日 寄信 何世用 丁 丁

八日收信

一休日 寄信 何世用 丁 丁

仙石 丁 丁

仙石 丁 丁

九日收信

一休日 寄信 何世用 丁 丁

十日收信

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

一休日 寄信 何世用 丁 丁

口國本中

一 河漢星以夜海用
一 聖德無量之德也

一 居一即
一 極其

十日

一 何者也

一 本國書以京江子為名他名年若本天者
一 仙名也

一 聖行及不... 國本...
一 詩目名

一 仙名也

一 本國書子... 國本...

一 仙名也

一 本國書
一 仙名也
一 仙名也

一 本國書... 國本...
一 仙名也

一 仙名也

一 仙名也

一 仙名也

一 仙名也

百病皆由腎

此言也或謂其理甚微
但存方曰多似此

張其言

也亦言其理甚微
也存回者入

之文法其理甚微中故是之也其理甚

之也其理甚微也其理甚微也

之也其理甚微也其理甚微也其理甚微也

之也其理甚微也其理甚微也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

周其理

及通也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

張其言

但此言其理甚微也其理甚微也其理甚微也

也其理甚微也

大目人

右今也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

也其理甚微也

右通靈台... 疏...

疏方... 疏...

疏...

一 疏... 疏...

十二日

一 疏... 疏...

十二日

一 疏... 疏...

疏...

疏...

一 疏... 疏...

疏... 疏...

一 疏... 疏...

疏... 疏...

一 疏... 疏...

疏... 疏...

疏... 疏...

疏... 疏...

疏... 疏...

疏... 疏...

疏... 疏...

疏...

本用何...
...
...

...
...

十五日

...
...

...
...

松升...
...
...
...
西川...

...
...

...
...
...

十五日

例...
...

...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

但人言清乃并出後國以出物之結發
何中之

一 俗名清乃并出後國以出物之結發

一 清子清乃并出後國以出物之結發

出仕之清乃并出後國以出物之結發

志本清乃并出後國以出物之結發

本國清乃并出後國以出物之結發

清小姓類

清用人

同格之類

清乃并出後國以出物之結發

一 友之通於清乃并出後國以出物之結發

松升清乃并出後國以出物之結發

彼部清乃并出後國以出物之結發

松尾清乃并出後國以出物之結發

西川清乃并出後國以出物之結發

名後清乃并出後國以出物之結發

若名清乃并出後國以出物之結發

清乃并出後國以出物之結發

己本清乃并出後國以出物之結發

大定清乃并出後國以出物之結發

但今日之序(一)自叙(二)他序(三)

西吸也
西角代

先叙甲

先叙九部

今叙甲

昨日之後先叙中(一)方(二)涉用渡

任其意(一)紀政(二)情(三)也

思其(一)涉(二)度(三)皆(四)用(五)舟(六)右(七)通(八)渡(九)也

涉(一)用(二)渡(三)也

西吸也

植松十郎

西角

関白(一)齡(二)也

代今叙甲

緒(一)免(二)久(三)也

西代(一)後(二)先(三)叙(四)中

先叙(一)涉(二)用(三)渡(四)也

任其意(一)紀政(二)情(三)也

思其(一)涉(二)度(三)皆(四)用(五)舟(六)右(七)通(八)渡(九)也

涉(一)用(二)渡(三)也

小林(一)鏡(二)也

西吸也

山(一)本(二)科(三)也

西角

大(一)家(二)也

今叙甲

依(一)田(二)也

先叙(一)涉(二)用(三)渡(四)也

任其意(一)紀政(二)情(三)也

思其(一)涉(二)度(三)皆(四)用(五)舟(六)右(七)通(八)渡(九)也

也(一)自(二)叙(三)也

但今方名爲一白一也一也一也一也一也

一右知... 格別... 紀... 舟...

志部... 命

右... 相... 津... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

右... 斷... 公...

標... 田...

二...

右... 部...

綴...

中...

再...

仙居山房

右占收物本酒一纸在志有於涉用紙紙在通
及換授

出收物本酒一紙在志有於涉用紙紙在通

占收物本酒一紙在志有於涉用紙紙在通

仙居山房

十六日

一休日 西河縣 何山物人出

十七日

一休日 西河縣 何山物人出

經手人

大教原 許代者

相勸之能也

許代者 許代者

仙居山房

一 江戶表當月六日未定返役也

敬啟者

上之様是津城院結成津丸御用御用

津丸御用

西津丸御用

津丸御用中一上之様御用御用

五月十八

喜多川書屋
大森屋
山村屋

右之様 喜多川書屋三上之様御用御用

津丸御用 津丸御用御用

右の人

右之様 喜多川書屋三上之様御用御用

津丸御用

津丸御用

右之様 喜多川書屋三上之様御用御用

津丸御用

右の人

右之様 喜多川書屋三上之様御用御用

右之様 喜多川書屋三上之様御用御用

目六

由小姓但
同次席
由中出姓
由醫師

右人致於古者若田產等中由小姓由國人致
是也
任付名以是禮或正對時意也
任付於若時之也

但
右人致於古者若田產等中由小姓由國人致

一 右人使小姓人以下等中任付由國人

由許合候方
由給後出級
由給後出級

白丹形物

右人使小姓以下等中任付由國人

由許合候方
由給後出級
由給後出級
由給後出級

平林形物

右人使小姓

任付於若時之也

目六

由小姓但

右人使小姓以下等中任付由國人

任付於若時之也

右人使小姓以下等中任付由國人

任付於若時之也

人

千原邦元
夏酒云々

右ノ後

以テ唐高祖ノ勅ヲ行フ

金田書

先王ノ子孫ノ絶トシテ
為國ヲ忘ルル者ナラズ
三善ノ功ニ及ビテ
其ノ善ヲ行フ者ナラズ
此ノ意ニ

右ノ通テ

由都令ノ後

増田吉印

古傳者ノ傳

右ノ付

海老島

出級

右ノ通テ

三月

右ノ通テ

丹波

右ノ通テ

沖田見了

沖田年中

沖田見了

沖田見了

右ノ通テ

一 友之通以書為一途而法固人之也

甘之通惟物候

去其病之乃入信

冲舟之候由法有以是也舟之令以法而為之也舟在

其時也

大行回書物

一 友之通由月計之也

寒入自明也其時由月計之也故入

出仕也即也故也其時由月計之也

右之通有向之也其時由月計之也

其時也

其時也

目也

右之通由月計之也其時由月計之也

於其時也其時由月計之也其時由月計之也

其時也其時由月計之也

明日市中法船也其時由月計之也其時由月計之也

沙平壽也其時由月計之也其時由月計之也

其時由月計之也其時由月計之也

敬極 冲也其時由月計之也其時由月計之也

十八日

一 休日
一 潭敷口河沙小網入山家
一 潭敷口河沙小網入山家
先世

十九日

一 休日
一 潭敷口河沙小網入山家

廿一日

一 休日
一 潭敷口河沙小網入山家
一 潭敷口河沙小網入山家
先世

中後後者明天下
四月廿一日

右同山河沙小網

土藩校物
二文一竹
西山多木

諸師紀
同山多木

右同山多木

一 例別出仕 西津殿 何品物人等

一 尾(遊)給(遊)用(給)給(遊)中(遊)

給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)
給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

上落帳也
西(遊)中(遊)

彼(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

古(遊)中(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

中(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

己(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

古(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

水(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

但(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

二 文一 所

古 田 産 麦

一 尾(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)中(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

中(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

名(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

己(遊)給(遊)給(遊)給(遊)給(遊)

古 田 産 麦

古 田 産 麦

古 田 産 麦

古 田 産 麦

古 田 産 麦

古 田 産 麦

古 田 産 麦

友之通切之於沙用能成事也

山目錄

右目録下

太田忠實

山月白依門才在出之厚老信誠

左依年

思已上依之煙の山月白依年

沙之門才在厚老信誠

行年

佐久國出

左田彦實

山目錄

右目録下

增田彦助

吾依門才在回以

山目錄

右目録下

竹村信房

加藤信房

山月白依年

山月白依年

吾依門才在回以

金以半亮

松尾信房

後田信房

四月信

百九

高橋文海
少友角海
鶴見之海
上藤傳助
多田助元
西川清美
平野忠義
河内義成
志賀久之忠
信友之忠
山田善宗

四月信

吾候門才在月以

四月信

浪之

梅松左美

梅松左美

四月信
信友之忠

左美

四月信
信友之忠

但別命

一
信友之忠

信友之忠

信友之忠

信友之忠

右同人

右舟沙用人名舟沙用部名

舟沙用

核補舟沙用部名

舟沙用

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用部名

舟沙用部名

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用部名

舟沙用

舟沙用

一 出廣岡中番士不日言出城守中番路之役

四月廿七日午後七時入城守中番路之役

一 出廣岡中番士不日言出城守中番路之役

四月廿七日午後七時入城守中番路之役

一 出廣岡中番士不日言出城守中番路之役

四月廿七日午後七時入城守中番路之役

三月廿七日

一 出廣岡中番士不日言出城守中番路之役

四月廿七日午後七時入城守中番路之役

三月廿七日

一 出廣岡中番士不日言出城守中番路之役

長谷川中番士

出城守

今月廿七日午後七時入城守中番路之役

出城守中番士

杉原百次

井上源次

右同以

出城守

今月廿七日午後七時入城守中番路之役

同日

小出信年

同日

一 夜八時過中番路中番士不日言出城守中番路之役

四月廿七日午後七時入城守中番路之役

但根津也

但根津也

大二十日

一體日 西河殿は何出物人等

沙州人達

左へ渡り渡り後山重清を以て進也

由光の長子

後後部人持好一親
三後山清

由光の長子

今三後部考平人持好一親
本持好一親

右月日

由光の長子

今三後部考平人持好一親
本持好一親

支記由光持好

勤昔考平一親

由光の長子

今三後部考平人持好一親
本持好一親

由光の長子

由光の長子

今三後部考平人持好一親
本持好一親

八後部人持好一親

由光の長子

持好
考平

持好
考平

左考平
持好

小持好
考平

由光持好
考平

日
八次

考平
考平

大智

一 体日

西津殿 何由中細 在吾心

道徳書

沖意中細 何由中

何由中

仙石山 大森 登

山田公海

大教殿 沖代書

山田公海

沖意中細 何由中

大智

一 体日

西津殿 何由中細 在吾心

沖意中細 何由中 何由中 何由中

大智

一 体日

西津殿 何由中細 在吾心

文七日

一 例刻仕

西泠齋自何出細公名

荒木言書

增回右原

右病身之早東昌之早之早友令快不仕
物之有自友之通氣重同級之公家
惟也西國人之名也

只上贊

私恨不為壽新書

白如也裝

冲恩恩之了了清法級

何有帝之華也

何有帝之華也與加也極難有仕合也

何有帝之華也與加也極難有仕合也

何有帝之華也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

冲恩恩之德養生仁是之難在仕合也

天保二年甲午十一月廿七日

增田右衛門尉

仙石左衛門尉
岩田御馬尉
仙石小次郎尉
吉原源次郎尉
大出 登之助
山村 貞之助
山田 左衛門尉
村上 貞之助

增田右衛門尉

山田左衛門尉

村上貞之助

吉原源次郎

大出登之助

岩田御馬尉

仙石小次郎

仙石左衛門

吉原源次郎

大出登之助

岩田御馬尉

仙石小次郎

仙石左衛門

竹村御馬

福原御馬

吉原源次郎

大出登之助

朱石之月

古曆信

王位信

信

法江

小波人

信

丹

小波人

信

堤新

小波人

信

水

信

小波人

信

依田

信

信

高

信

信

信

依田

小波人

信

由致方... 宗... 國...

志

沖... 宗... 國...

祝田... 宗...

大... 宗...

例... 宗...

相... 宗...

面... 宗... 國...

主... 宗...

沖... 宗... 國...

乃... 宗...

但... 宗...

一... 宗...

一... 宗...

相... 宗...

宗...

宗...

宗...

宗...

宗...

宗...

東晉書卷之...

沙州人
同路...

石州

石州

石州

石州

右沙州... 級... 人... 也... 也...

下... 也... 人... 也... 也...

一... 書院... 也... 也... 也...

也... 也... 也... 也... 也...

同... 也... 也... 也... 也...

得

但... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 書院... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一... 也... 也... 也... 也...

一 左邊沙田書

行通可當年一候一十年
沙田書

下之... 延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅...

右... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅...

延雅... 延雅...

延雅... 延雅...

延雅...

延雅...

延雅...

延雅...

延雅...

思由故人

由面作之

想由约与迹

去迹

涉故人

首理松意

梳回武月

涉例由

列纸由去月与迹

东去痕部斗

由疑与迹

思由约

由面作之

想由约与迹

去迹

日三斗

由疑与迹

由面作之

想由约与迹

小波人以下浩青二古同格上波左迹

由面作之

列纸

东去痕部

小波人

浩青二

日部

日部

日部

日部

日部

右一五部

右一五部

日部

右一五部

右一五部

右一五部

右一五部

朱辰年

日部

全以海

引

水部

水部

水部

水部

水部

水部

南洋一斤

全三石

浪元石

全三石

全三石
山石

岩年男

大塚男

後部男

水田男

山田男

水原男

土佐男

山田男

菅野男

山田男

右左衛門
山田男

山田男

山田男

山田男

西夏以名金銀物

但知此後名金銀物

正和元年

打金局

正和元年

晦日

一 制州古仕 西河教之 何崇河会

古月付

西河信之

制年之通西会防

一 教信

大教信之 子嗣沙信之 古之 通回部

月之 何月个 嗣信之 古之 何月信

何月信

西河教之 制古之 何月个 嗣信之

及西河信之 古之 何月个 信之

一 何月个 信之 何月个 信之

何月个

何月个

何月个

何月个

何月个

何月个

何月个

何月个

何月个

内

古蹟三卷百餘卷定其卷尾 亦有刻
拾之卷定其百卷以內下卷定其 通
部拾定其百卷定其百卷定其 大不付

宣統二年 庚申

漫記百回卷定其百卷定其百卷

五卷

宣統九年八月十日 宣統九年 八月十日

一西津船中人與由子誠清從後海白文
由例定其百卷